BUDŌ NEWS

今月のニュース

高松宮記念杯争奪
第 25 回全日本銃剣道選手権大会

8 月 4 日・日本武道館大道場

前列左から第３位・中谷和彦選手、優勝・藤原考貴選手、準優勝・角康大選手、第３位・南脇章吾選手

高松宮記念杯争奪 第25回全日本銃剣道選手権大会

藤原考貴が初の栄冠

決勝＝藤原（左）の上胴が決まる

銃剣道日本一を決める第25回全日本銃剣道選手権大会（主催＝全日本銃剣道連盟）が、8月4日、日本武道館で開催された。前回3位以上の選手と各地の予選を勝ち抜いた計64名が出場し、銃剣道の覇を争った。

決勝では、出場2回目の藤原考貴（ふじわらこうき）錬士六段（岡山）が、出場8回目で昨年ベスト8の角康大（すみこうだい）教士七段（沖縄）を1―0で降し、栄冠を手にした。3位には、中谷和彦（なかたにかずひこ）錬士六段（山口）、南脇章吾（みなみわきしょうご）錬士七段（香川）が入賞した。

◇

開会式では、酒井健全日本銃剣道連盟会長が主催者として挨拶。続いて、新たに日本武道館会長に就任した高村正彦衆議院議員から「皆様は、常日頃から技を研（みが）いていることと思います。本日はその鍛えた技を発揮し、悔いのない試合をしてください」と来賓祝辞があり、選手を激励した。

大会はトーナメント方式により行われ、試合は、3本勝負とし、時間は5分。勝負が決しない場合は、勝負が決するまで時間無制限の延長戦を行った。

◆1回戦～3回戦

第1ブロックでは、5回出場の岩切健太（広島）が勝ち上がる。3回戦では延長の末、上胴で勝利した。8回出場のベテラン角康大（沖縄）は、安定した試合展開を見せる。3回戦では昨年3位の齊藤孝（高知）に二本勝。悲願の優勝を目指し、駒を進めた。

第2ブロックでは、中谷和彦（山口）が準々決勝へ。昨年2位の西村健（大分）は、3試合とも2―0の二本勝とし、順当に勝ち進んだ。

第3ブロックでは、吉田哲平（福岡）が初出場ながら準々決勝に進出。6回目の出場となる南脇章吾（香川）も4回戦に勝ち上がった。

第4ブロックでは、前回は初戦敗退した藤原考貴（岡山）が、2回戦で大石一矢（高知）と対戦。藤原は先取されるが小手を決めて延長戦に。最後は上胴で勝利した。他の2試合も二本勝して準々決勝へと進んだ。昨年覇者の北慎一郎（長崎）が登場。3回戦では、先制後に上胴をとられるものの相手の隙をつき、下胴を決めて二本勝した。

準々決勝＝岩切の出端を捉えた角（左）の上胴（二本目）

準々決勝＝中谷（左）が下胴（二本目）を決める

◆準々決勝

角　康大　上上―　岩切健太

近間から積極的に攻める角。開始約1分、岩切が間合いを詰めてきたところ、角は出端に上胴を決め、先制する。岩切も攻勢に出るが、角がうまく間合いをとり、岩切は有効突きを奪えない。間合いを詰め、攻めようとする岩切。角は岩切の裏から上胴に出る技の起こりを捉え、上胴を突く。旗は3本とも角に上がり、角が準決勝へと進んだ。

中谷和彦　下下―　西村　健

開始早々に、西村は裏から上胴に飛び込むが中谷は上体を捻ってそれを躱すと、後ずさる西村を追いかけて鋭い下胴を突き上げる。西村はこれを捌こうとするが、中谷の木銃の先端はしっかりと西村の下胴を捉え、一本。近間での攻防から西村が表の交差から転じようとしたその出端を中谷は捉え、下胴を繰り出す。西村も上胴で応じようとするが間に合わず。下胴が決まって、中谷は準決勝へと勝ち進んだ。

南脇章吾　上　―　吉田哲平

序盤、南脇は接近した状態で、表から裏から積極的に攻める。後退する吉田だが、負けじと細かく突きを繰り出し、南脇を試合場端まで追い詰める。吉田は何度も上胴を狙うがそれを木銃で巧みに捌く南脇。開始2分半、近間での攻防では、南脇が木銃の先端で吉田の木銃に軽く触れ、吉田の木銃が少し下に傾いた。その瞬間、南脇は大きく上胴に飛び込み、先制。そのまま試合は終了し、南脇が準決勝に駒を進めた。

藤原考貴　上上―　北慎一郎

互いに近間からフェイントをかけ合い様子を窺う。1分過ぎ、基本の間合から木銃の先端を細かく揺らしてタイミングをはかる北に対し、藤原が動いた。木銃を上に傾け、反対交差に切り替えながら上胴を突いた。北は捌こうとするものの間に合わず、藤原が先取する。終盤、北の技の起こりに合わせ、藤原は再び上胴を出す。捌きに転じようとする北だが、木銃は北の上胴を捉えて、藤原が二本勝。昨年覇者の北は準々決勝で姿を消した。

準々決勝＝南脇（左）が上胴に飛び込み、一本

準々決勝＝藤原（左）が上胴（二本目）を奪う

◆準決勝　角　康大　上上―　中谷和彦

胴を狙う中谷に対し、その手元を素早く叩いて、払いのける角。中盤、機を窺っていた中谷は半歩下がり、角の空いた下胴を狙いにでる。間合いをはかっていた角は、下がりながら中谷の突き出た木銃を払い、流れるように上胴を決めた。試合終盤、基本の間合から角が腰を落とし、下胴を狙う身振りをとる。それに合わせて中谷が木銃を下げた瞬間、すかさず角が飛び込み、中谷の空いた上胴を奪った。

準決勝＝角（右）による二本目の上胴

◆準決勝　藤原考貴　上　―　南脇章吾

序盤は藤原が攻勢に出る。間合いをとり、藤原は胴を狙い、大きく踏み込んで仕掛ける。しかし両者は決め手なく一進一退の攻防は続く。終盤に差し掛かると、一度後退した南脇は上胴を狙うと見せかけ、藤原の空いた下胴を狙いに出た。動きを読んでいた藤原はそれに反応し、裏から上胴で応じた。藤原の上胴が決まり、先制する。追いつきたい南脇だが、時間となり試合は終了。藤原の一本勝となった。

準決勝＝藤原（左）が南脇の動きに応じて上胴を決める

◆決勝　藤原考貴　上　―　角　康大

藤原は2回目の出場で、昨年は初戦で敗退している。対して角は過去3位になった実績がある。藤原と角はともに初となる決勝の舞台で覇を競い合った。

序盤、藤原が攻めるが、角は木銃で捌かずに上体の捻りのみで躱していく。また、遠くから飛んでくる角の鋭い攻撃に対して、防戦一方となる藤原。再び攻めに転じるも、うまく間合いをはかられ、木銃は角の胴まで届かない。攻めあぐねる藤原だが、角も有効突きを奪えず5分が経過。試合は延長戦へと移った。

延長戦30秒過ぎ、基本の間合で、木銃の先端を左右に揺らし、機を窺っていた角が仕掛けに出る。左に揺らした木銃をそのまま素早く突き出し、表から下胴を奪いに出た。応じ技を狙っていた藤原は直ぐさまこれに反応する。後方に下がりながら角の突きを躱し、木銃を突き出した。その先端は見事に角の上胴をとらえ、藤原に軍配。場内から歓声があがる中、藤原は初の栄冠を手中に収めた。

決勝（連続写真①）＝角（左）が下胴を奪いに出るが、藤原はそれに反応し、後方に下がる

決勝（連続写真②）＝角の突きを躱して突きに転じる藤原（右）

決勝（連続写真③）＝藤原（右）の木銃は角の上胴を捉えた

◎優勝＝藤原考貴選手（岡山）

粘り強く勝ち取った初優勝

――まず、優勝についての感想を

「優勝したという実感が全くないのですが、非常に嬉しいです。この練習環境を作ってくれた地元の人たちと所属の13特科隊に感謝します」

――試合を振り返っていかがでしたか

「準々決勝の相手・北慎一郎選手とは、4月の全日本銃剣道優勝大会・防衛省第2部の決勝・大将戦で対戦しており、その時は判定負けとなりました。リベンジしたいと思い、大会に臨みましたので、上手くかみ合って勝つことができ、嬉しいです。

決勝での角康大選手には、今まで一度も勝っていなく、本当に自信がありませんでした。試合が始まると、攻めても応じられるし、向こうが攻めたら非常に剣が速く、応じづらい厳しい試合となりました。これは粘り強く待ち、応じ技でいくしかないと意を決して、狙っていた剣で一本を取ることができました」

――この優勝を誰に伝えたいですか

「まず家族に、妻と3歳の息子に伝えたいです。今朝、家を出る時に妻からは〝結果はどうであれ、悔いが残らないように、精一杯やってきてほしい〟と送り出してもらいました」

――今後について

「初出場である前回は1回戦負けを喫してしまったので、今回は何が何でも勝ち上がっていこうという気持ちでした。それをうまく繋げられたのだと思います。今後も選手権覇者という名に恥じぬよう、皆の模範となるように自覚を持ってしっかり稽古していこうと思います」

◇

青年らしく実に清々しく語ってくれた藤原選手。そして、応答の最後には選手権覇者として自覚と責任も感じとれた。藤原選手の今後の活躍に注視していきたい。

○準優勝＝角　康大選手（沖縄）

「決勝でも自分のやれる剣は出せたかなと思います。最後は思い切り行きました。ここまで来たら負けたくないという気持ちが強かったです。藤原選手が全然攻めて来ないなという印象だったので、自分から先に行こうと攻めた結果です。他の大会では決勝は得意で、負けた経験があまりなかったので、優勝したイメージを持っていったんですけどダメでしたね。先走りすぎました」

□第3位＝中谷和彦選手（山口）

「（角さんは）何回もやっていて知っているので、すごくやりにくかったです。最初の上胴は突かれた感じはあまりなかったんですが、自分が崩れてしまったのと、相手との技量の差ですね。力を出し切りましたので、結果には満足しています」

□第3位＝南脇章吾選手（香川）

「悔しい、悔しさしかないですね。準決勝では足が止まってしまいました。相手はそこを捉えて、うまく突いてきました。やられるべくしてやられたということですかね。また、来年に向けて練習を重ねていきたいです」

▽ベスト8＝岩切健太選手（広島）

「技量は角選手の方が上なのでチャンスは少なく、そのチャンスをものにできなかったのが敗因です。詰めたタイミングで自分の間合いになった瞬間があったのですけれど、決めさせてくれませんでした」

▽ベスト8＝西村　健選手（大分）

「準々決勝では、序盤に一本取りにいくために仕掛けたのですが、残心の途中に油断があり、下胴をもらってしまいました。それからは相手のペースとなり、何もすることができずに終わってしまいました」

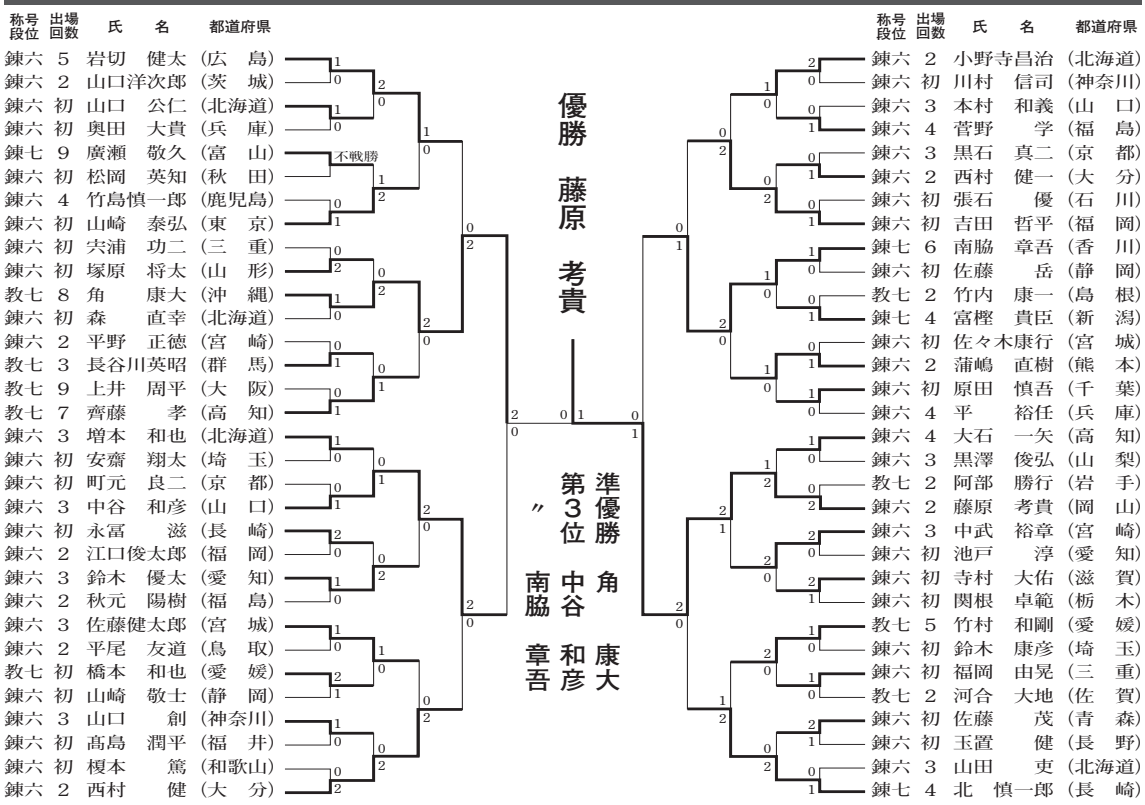
▽ベスト8＝吉田哲平選手（福岡）

「序盤でやられたので、先に突きたかったですね。先に突いて有利に試合を進めることを意識しました。今回は残念ですけれど、また次回、頑張りたいです」

▽ベスト8＝北慎一郎選手（長崎）

「〝やってもうた〟という感じですね。敗因は相手の間合に入りすぎたことです。7月の九州北部豪雨による災害派遣があり勤務は忙しかったのですが、稽古は合間をみて行っていました。来年は、若手が育っておりますので、若手に期待します」

第25回　全日本銃剣道選手権大会



称号段位	出場回数	氏名	都道府県
錬六	5	岩切　健太	（広　島）
錬六	2	山口洋次郎	（茨　城）
錬六	初	山口　公仁	（北海道）
錬六	初	奥田　大貴	（兵　庫）
錬七	9	廣瀬　敬久	（富　山）
錬六	初	松岡　英知	（秋　田）
錬六	4	竹島慎一郎	（鹿児島）
錬六	初	山崎　泰弘	（東　京）
錬六	初	宍浦　功二	（三　重）
錬六	初	塚原　将太	（山　形）
教七	8	角　康大	（沖　縄）
錬六	初	森　直幸	（北海道）
錬六	2	平野　正徳	（宮　崎）
教七	3	長谷川英昭	（群　馬）
教七	9	上井　周平	（大　阪）
教七	7	齊藤　孝	（高　知）
錬六	3	増本　和也	（北海道）
錬六	初	安齋　翔太	（埼　玉）
錬六	初	町元　良二	（京　都）
錬六	3	中谷　和彦	（山　口）
錬六	初	永冨　滋	（長　崎）
錬六	2	江口俊太郎	（福　岡）
錬六	3	鈴木　優太	（愛　知）
錬六	2	秋元　陽樹	（福　島）
錬六	3	佐藤健太郎	（宮　城）
錬六	2	平尾　友道	（鳥　取）
教七	初	橋本　和也	（愛　媛）
錬六	初	山崎　敬士	（静　岡）
錬六	3	山口　創	（神奈川）
錬六	初	髙島　潤平	（福　井）
錬六	初	榎本　篤	（和歌山）
錬六	2	西村　健	（大　分）

称号段位	出場回数	氏名	都道府県
錬六	2	小野寺昌治	（北海道）
錬六	初	川村　信司	（神奈川）
錬六	3	本村　和義	（山　口）
錬六	4	菅野　学	（福　島）
錬六	3	黒石　真二	（京　都）
錬六	2	西村　健一	（大　分）
錬六	初	張石　優	（石　川）
錬六	初	吉田　哲平	（福　岡）
錬七	6	南脇　章吾	（香　川）
錬六	初	佐藤　岳	（静　岡）
教七	2	竹内　康一	（島　根）
錬七	4	富樫　貴臣	（新　潟）
錬六	初	佐々木康行	（宮　城）
錬六	2	蒲嶋　直樹	（熊　本）
錬六	初	原田　慎吾	（千　葉）
錬六	4	平　裕任	（兵　庫）
錬六	4	大石　一矢	（高　知）
錬六	3	黒澤　俊弘	（山　梨）
教七	2	阿部　勝行	（岩　手）
錬六	2	藤原　考貴	（岡　山）
錬六	3	中武　裕章	（宮　崎）
錬六	初	池戸　淳	（愛　知）
錬六	初	寺村　大佑	（滋　賀）
錬六	初	関根　卓範	（栃　木）
教七	5	竹村　和剛	（愛　媛）
錬六	初	鈴木　康彦	（埼　玉）
錬六	初	福岡　由晃	（三　重）
教七	2	河合　大地	（佐　賀）
錬六	初	佐藤　茂	（青　森）
錬六	初	玉置　健	（長　野）
錬六	3	山田　吏	（北海道）
錬七	4	北　慎一郎	（長　崎）

マンガ・武道の偉人たち

漫画家・別府大学教授　**田代しんたろう**　著

B5判・302頁・本体1,000円+税

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯をマンガで学べる。
収録偉人一覧：嘉納治五郎（柔道）、高野佐三郎（剣道）、阿波研造（弓道）、双葉山（相撲）、船越義珍（空手道）、植芝盛平（合気道）、宗道臣（少林寺拳法）、園部秀雄と三田村千代（なぎなた）、鵜沢尚信（銃剣道）

ご注文・お問い合わせ　日本武道館 月刊「武道」編集部　〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3 TEL 03-3216-5147 FAX 03-3216-5158
http://www.nipponbudokan.or.jp インターネットでのご注文は、「武道館単行本」と検索!

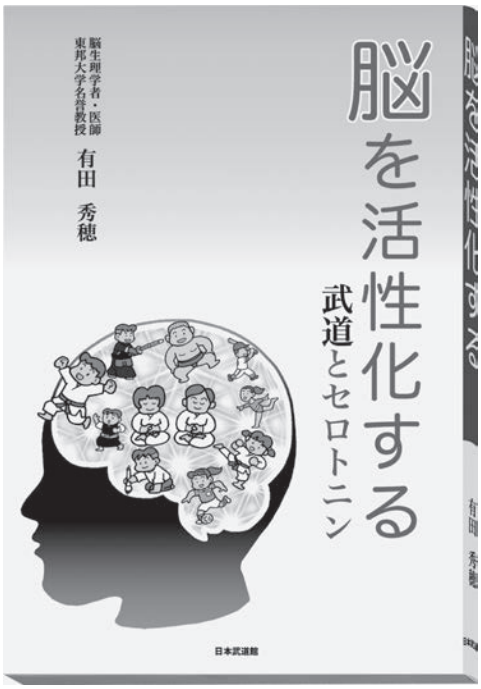
好評発売中

脳を活性化する

武道とセロトニン

脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授
有田 秀穂 著

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もができる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円＋税

有田秀穂
（ありた・ひでほ）

昭和23年（1948）東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。

主な内容

第1部　脳の活性化とは
坐禅とセロトニン
ストレスとしごき
空海はセロトニン活性の達人
『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング
沢庵の「不動智」とワーキングメモリー
不動明王と心の三原色
『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識
悪夢を消すには？
精進料理とセロトニン合成
「茶の湯」とセロトニン的生活
「自然に体が動いた」を脳科学で解く
勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する
「武道の礼法」は社会脳を育む
相撲の「四股」は品性を育む
書道も心技体の人間修行
アンドロゲンと闘争心
日本の祭にはセロトニンがたっぷり
スキンシップとオキシトシン
空手の稽古は坐禅修行に通じる
脳は「丹田呼吸法」をどう操るか
試合における最適な覚醒状態
サイエンスは「気」をどこまで解明したか
仙人術を脳科学する
第2部　対談「武道で脳を活性化しよう」
日本武道館会長　松永　光
東邦大学名誉教授　有田　秀穂
…他

編集・発行　日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法・なぎなた・銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

日本の武道

好評発売中!

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）

≪目次≫

序章
刊行の辞 … 塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長
刊行にあたって … 松永 光 日本武道館理事長
武道のすすめ … 養老孟司 東京大学名誉教授
武道憲章（「武道憲章」「武道憲章英訳文」「こども武道憲章」）
カラー口絵（日本武道館、9武道＋日武協30年のあゆみ）

第1章 日本の武道
第1節 日本の武道 …… 杉江正敏 大阪大学教授
第2節 武士道から武道へ … 菅野覚明 東京大学大学院教授
第3節 武道の近代化・嘉納治五郎師範の教え …
村田直樹 講道館図書資料部長
第4節 武道の魅力 …… 大保木輝雄 埼玉大学教授
第5節 学校武道の歴史 … 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道の教育力 …… 菅野 純 早稲田大学教授
第7節 日本武道館 …… （財）日本武道館

第2章 日本の古武道
第1節 日本の古武道
第2節 古武道の技と心 … 横瀬知行 古流武術研究家

第3章 現代の武道
第1節 柔 道 …… （財）全日本柔道連盟
第2節 剣 道 …… （財）全日本剣道連盟
第3節 弓 道 …… （財）全日本弓道連盟
第4節 相 撲 …… （財）日本相撲連盟
第5節 空手道 …… （財）全日本空手道連盟
第6節 合気道 …… （財）合 気 会
第7節 少林寺拳法 …… （財）少林寺拳法連盟
第8節 なぎなた …… （財）全日本なぎなた連盟
第9節 銃剣道 …… （社）全日本銃剣道連盟

第4章 組織・研究機関
第1節 日本武道協議会
第2節 全国都道府県立武道館協議会
第3節 日本武道学会
第4節 日本古武道協会
第5節 武道学科等設置大学 ①国際武道大学 ②国士舘大学 ③東海大学 ④日本体育大学 ⑤鹿屋体育大学 ⑥中京大学 ⑦天理大学 ⑧筑波大学

第5章 資料編
第1節 役員名簿・組織図
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧
第4節 年表「武道・近代百四十年の歩み」中村民雄 福島大学教授
第5節 学校体育における武道の変遷 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道主要参考図書

（現職・法人名は刊行時）

編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

第９回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会

岐阜県が２年ぶり２回目の優勝

優勝＝岐阜県

第９回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会（主催＝全日本剣道連盟、読売新聞社）は７月15日、日本武道館で開催された。大会は１チーム５名の団体戦で争われ、全47都道府県の代表選手たちが日本一を目指して鎬を削った。

チームは、先鋒＝高校生、次鋒＝大学生、中堅＝18歳～34歳（高校生、大学生を除く）、副将＝35～44歳、大将＝45歳以上の女子５名で編成。

試合進行は、時間５分の３本勝負。勝者数、総本数が同じ場合は大将による代表戦を行い、時間無制限の１本勝負で勝敗を決した。

決勝は、昨年準優勝の岐阜県と、初の決勝進出となった鹿児島県の対戦となり、互いに２勝するものの、総本数の差で岐阜県が２年ぶりの優勝を決めた。３位には京都府と佐賀県がそれぞれ入賞した。

準決勝に残ったのは、岐阜県、京都府、鹿児島県、佐賀県の４チーム。

準決勝第１試合、岐阜県対京都府は、先鋒から副将まで引き分けて大将戦を迎える。岐阜・荻田は京都・田中に面を決めて先制するが、終了間際に田中も面を返して引き分け、勝負の行方は代表戦へ。試合は田中の小手、萩田の面の打合いになるも、荻田に旗が２本あがり、岐阜県が３年連続で決勝に進んだ。

準決勝第２試合、鹿児島県対佐賀県は、先鋒戦で鹿児島・桑水流が二本勝ち、次鋒戦でも鹿児島・末吉が一本勝ちで勝利し、鹿児島が早くも決勝進出に王手をかける。しかし、佐賀は、ここから意地を見せて中堅・木塚が二本勝ち、副将・宮崎が一本勝ちで、勝ち数・本数で並ぶ。そして、最後に勝負のかかった大将戦。鹿児島・西は佐賀・櫻木が小手を打ち損じたところに面を決めて勝利。鹿児島が初の決勝進出を決めた。

◇決勝

	岐阜県	2(3)—2(2)	鹿児島県
先鋒	外山菜緒	—コ	桑水流愛香
次鋒	川村瑠李	—	末吉杏梨
中堅	竹村奈緒美	メコ—	阿世知美樹
副将	岡安美登理	—コ	下川美佳
大将	荻田ひろ美	メ—	西　晴乃

先鋒戦は鹿児島・桑水流が小手で一本勝ち。次鋒戦は引き分け、中堅戦で岐阜・竹村が面、小手を決めて

第２位＝鹿児島県

第３位＝京都府

決勝大将戦＝岐阜・荻田（右）が面で攻める

二本勝するが、副将戦では鹿児島・下川が小手で勝利し、鹿児島県が勝者数で再びリードする。優勝をかけた大将戦で岐阜・荻田と鹿児島・西が対戦。荻田は前に圧力をかけて西の攻撃を誘い、西が面に出たところに引き面を決める。残り時間で必死に攻める西だが、荻田を崩せず試合終了。大将戦で見事な逆転勝利を果たした岐阜県が、２年ぶり２回目の優勝を決めた。

◎優勝＝岐阜県・甲木幸枝監督

「選手には粘り強く岐阜の力を出そうと言っていました。先鋒の高校生と次鋒の大学生が初出場です。優勝できて選手には本当に感謝しております。来年も監督をやれるのであれば優勝を狙って頑張ります」

◎優勝＝岐阜県・荻田ひろ美選手

「優勝と２位とでは全然違うので、決勝は、ここで勝たないといけないという気持ちでした。相手は大学時代からよく知っている強い選手なので、気を抜かないようにしていました。一本決めてからは、きつかったです。今日は大将として、攻める気持ちを忘れずに一戦一戦やろうと選手に声をかけました。来年またみんなで頑張ります」

第３位＝佐賀県

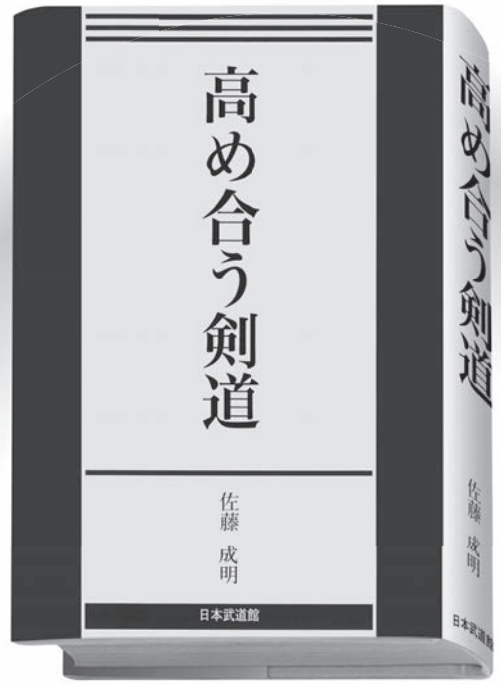
【大会結果】

◎優　勝＝岐阜県
○第２位＝鹿児島県
▽第３位＝京都府
　　佐賀県
◇優秀選手＝山崎圭子（千葉県）、小津野祐佳（岡山県）、馬越千里（愛媛県）、忠政美樹（岡山県）、海津みなみ（熊本県）、西柚衣（茨城県）、岩本泉（大分県）

◎好評発売中

高め合う剣道

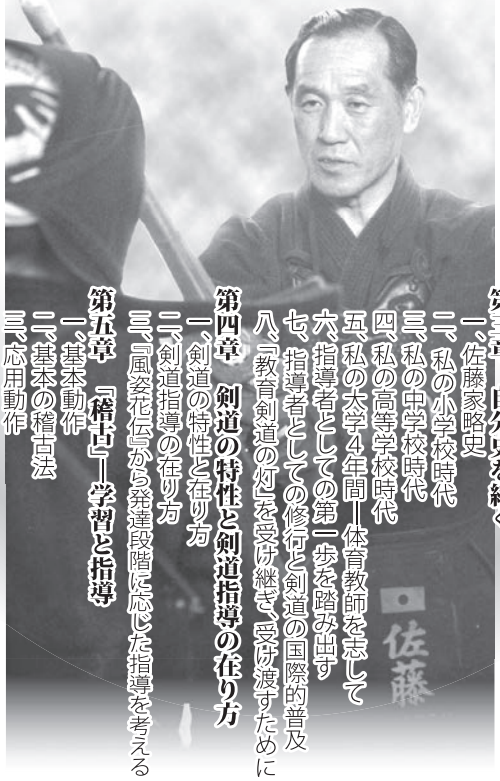
筑波大学名誉教授　佐藤 成明 著



〝互いに学び高め合う教育剣道のために〟

先達が心血を注いで残した「教育剣道の灯」を、正しく受け継ぎ、次代へ正しく受け渡すために、教育剣道の実践者として長年の経験をもつ筆者が、古今の文献を手掛かりに日々の修錬で大事な事柄を綴る。
これからの剣道の在り方、すべての剣道を学ぶ者が「互いに学び、高め合う剣道」の在り方を考えるために必携の一書。

四六判・上製・564頁・本体2400円＋税



目次

第一章　剣道小史―剣技・剣術・剣道の歴史
一、奈良時代～江戸中期―闘争の技術から竹刀剣術の誕生まで
二、江戸時代中期以降～現在―剣術から剣道へ

第二章　剣道と教育
一、教育に関する基礎知識
二、「三育思想」
三、「教育基本法」と「学習指導要領」
四、「礼」の教育について

第三章　自分史を綴る
一、佐藤家略史
二、私の小学校時代
三、私の中学校時代
四、私の高等学校時代
五、私の大学4年間―体育教師を志して
六、指導者としての第一歩を踏み出す
七、指導者としての修行と「剣道の国際的普及
八、「教育剣道の灯」を受け継ぎ、受け渡すために

第四章　剣道の特性と剣道指導の在り方
一、剣道の特性と在り方
二、剣道指導の在り方
三、「風姿花伝」から発達段階に応じた指導を考える

第五章　「稽古」―学習と指導
一、基本動作
二、基本の稽古法
三、応用動作
四、稽古への取組方と方法
五、剣道における形の重要性

第六章　試合について
一、試合(一)――先達の文献から
二、試合(二)――剣道の「術理」

終　章　高め合う剣道
一、稽古の意義と心得
二、剣道に関する古今の訓え
三、互いに学び高め合う教育剣道のために

編集・発行　日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）

BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）

高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

（四六判・上製・564頁）

刀剣の歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

（四六判・上製・346頁）

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）

武道における身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）

禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤錬太郎 著

（四六判・上製・386頁）

今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）

人を育てる剣道

剣道範士八段

角　正武 著

（四六判・上製・268頁）

武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中　守 著

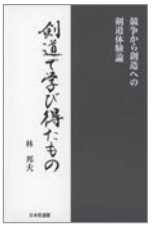
（四六判・上製・274頁）

兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

（四六判・上製・344頁）



剣道で学び得たもの

中京大学教授

林　邦夫 著

（四六判・上製・298頁）

第1回都道府県対抗弓道大会

初の栄冠は静岡県に

決勝＝静岡の３射目（岩﨑俊行選手）

国内における弓道の競技力向上、弓道の普及及び加盟団体相互の融和を図ることを目的とし、初めてとなる都道府県対抗弓道大会が日本武道館で7月18日に開催された。大会では各都道府県弓道連盟会長から認証を受けた全都道府県の47チームが参加し、覇を競った。

試合は、決勝で静岡県が東京都に16―15で勝利。記念すべき第1回大会の栄冠に輝いた。

◇

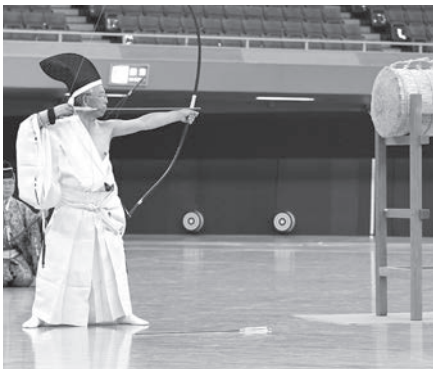
競技は、団体による的中制（坐射・直径36㎝霞的）の近的競技として行われた。５人立（うち1名が女性選手）、各自4射1回で、的中数の多い上位16チームが決勝トーナメントに進出。同中の場合は各自1射を行い、総的中数の多いチームを勝ちとし、それでも勝敗が決まらない場合は、勝敗が決するまで繰り返す。

大会には、高円宮妃殿下がご臨席され、場内の観覧者から大きな拍手が送られた。

大会には高円宮妃殿下がご臨席された

◆予選

予選では、長野が16中で1位通過、静岡・栃木・神奈川・鹿児島が15中で2位通過、福岡・岐阜・広島が14中で3位通過と続いた。13中となった13チームにより、同中競射が行われ、東京を含めた熊本・宮城・山梨・山口・北海道・愛知・大分の8チームが勝利。これにより上位16チームが決定した。



柴田猛範士九段による巻藁射礼

◆決勝トーナメント

決勝トーナメントに入り、静岡は、1回戦では福岡を14―13、2回戦では広島を17―14で降し、準決勝へと進んだ。同ブロックの宮城は、1回戦では山口に14・4―14・3、2回戦では岐阜に13―12で勝利した。

別のブロックで、東京は、1回戦では愛知を15―12、2回戦では山梨を18―13で破り、準決勝に進んだ。一方神奈川は、1回戦では予選1位通過の長野に16―14、2回戦では大分に15・4―15・3で競り勝った。

◆準決勝

静岡と宮城の対戦では、静岡の競技が先に終了し、16中とした。3射目が終了し計4つ失中している宮城は後がない。しかし、4射目は5人とも的中させ、16―16で同中競射が行われた。競射では4―3となり、静岡が辛勝した。

東京と神奈川の対戦。1射目から3射目で、東京は各回1つ外し計3つ失中する。神奈川は各回2つ外し計6つ失中。後がない神奈川は4射目を全て的中させた。対して東京は4射目の1人が失中となるも、東京が16―14で勝利を収めた。

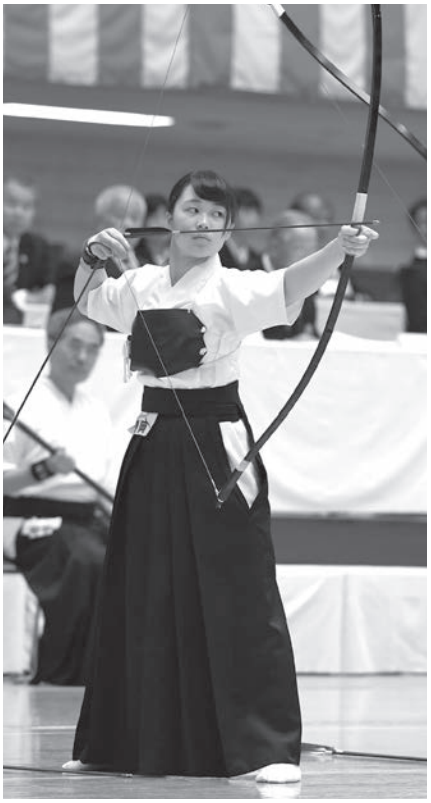
◆決勝

記念すべき第1回の覇者を目指し、静岡と東京が対戦した。場内の視線が集まる中、両チームの競技が始まる。

1射目、静岡は3中、東京は全てを中(あ)てて5中とする。2射目、静岡は4中、東京は2つ失中して3中となる。3射目、静岡は全て中てて5中。東京は1つ外して4中。この時点で静岡は東京に並ぶ。注目の4射目、静岡は1つ外して4中の計16中とし競技を終える。対して東京は、3人目、5人目と2つ外し、静岡が16―15で勝利。栄えある第1回大会で静岡県が優勝を果たした。

決勝的中数

静岡県	鈴木　瑠莉	○	○	○	○	4
	片山　政美	○	○	○	○	4
	上久保　龍	×	○	○	×	2
	岩崎　俊行	○	○	○	○	4
	脇　宏光	×	×	○	○	2
東京都	宮崎　舞子	○	○	○	○	4
	岡村　良彰	○	○	×	○	3
	竹内　妙子	○	×	○	×	2
	田中　勝朗	○	×	○	○	3
	川崎　良典	○	○	○	×	3



決勝＝静岡の1射目（鈴木瑠莉選手）

優勝した静岡県

◇大会結果

優勝＝静岡県
2位＝東京都
3位＝神奈川県、宮城県
5位＝大分県、山梨県、広島県、岐阜県

◎優勝＝静岡県・大山哲司監督

「選手が頑張ってくれました。非常に嬉しいです。その一言ですね。第1回の大会ですので、大会に向けて、土日の間に何回か集まり、強化練習を重ねて来ました。勝つことができて本当によかったです。東京都との決勝では、こちらが先に射が終わり、東京の競技中は、同点で競射をもう一回行うつもりで見ておりました」

◎優勝＝静岡県・鈴木瑠莉選手

「第1回の大会ということで、全てのチームが優勝を狙っていたと思います。その中で優勝できて嬉しいです。全ての試合が接戦となり、最後まで分からない展開が続いたので、ドキドキしながら引いていました。次回からも静岡が優勝できるように頑張ります」

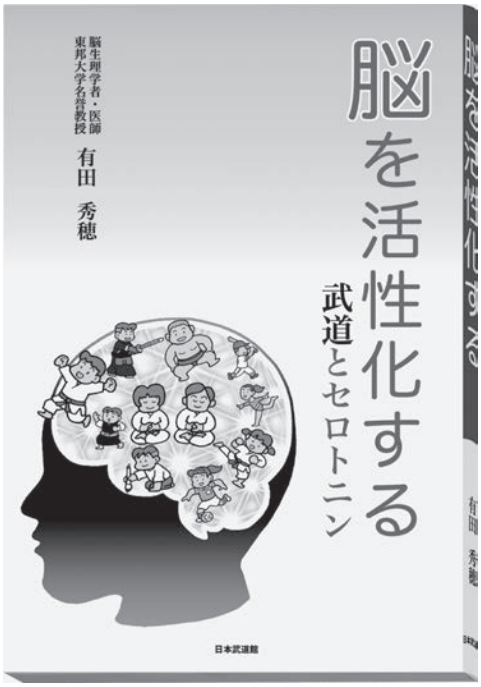
好評発売中

脳を活性化する

武道とセロトニン

脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授
有田秀穂 著

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もができる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田秀穂
（ありた・ひでほ）

昭和23年（1948）東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。

主な内容

第1部　脳の活性化とは
坐禅とセロトニン
ストレスとしごき
空海はセロトニン活性の達人
『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング
沢庵の「不動智」とワーキングメモリー
不動明王と心の三原色
『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識
悪夢を消すには？
精進料理とセロトニン合成
「茶の湯」とセロトニン的生活
「自然に体が動いた」を脳科学で解く
勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する
「武道の礼法」は社会脳を育む
相撲の「四股」は品性を育む
書道も心技体の人間修行
アンドロゲンと闘争心
日本の祭にはセロトニンがたっぷり
スキンシップとオキシトシン
空手の稽古は坐禅修行に通じる
脳は「丹田呼吸法」をどう操るか
試合における最適な覚醒状態
サイエンスは「気」をどこまで解明したか
仙人術を脳科学する

第2部　対談「武道で脳を活性化しよう」
日本武道館会長　松永　光
東邦大学名誉教授　有田　秀穂

…他

編集・発行　日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp
お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）

BUDŌ：THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）

武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）

武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）

武道における身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）

＜増補版＞

私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）

今、なぜ武道か

―文化と伝統を問う―

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）

大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）

武道・スポーツの真髄

スポーツドクター

辻　秀一 著

（四六判・上製・248頁）

武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野　純 著

（四六判・上製・410頁）

武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）

第48回全日本青年銃剣道大会

団体戦青年第１部・決勝大将戦＝１普連Ａ・福田（右）が 40 普連Ａ・蛯原に上胴で先制

第１部 第１普連Ａ（東京）連覇達成
第２部 第15普連（香川）返り咲き

第48回全日本青年銃剣道大会（主催＝全日本銃剣道連盟）が８月３日、日本武道館で開催された。

大会は、団体戦青年第１部（195チーム、選手・監督753名）、団体戦青年第２部（175チーム、選手・監督650名）、女子個人戦（選手127名）の３部門で優勝を競った。

団体戦青年第１部は第１普通科連隊Ａ（東京）が連覇、第２部は第15普通科連隊（香川）が２年ぶりに優勝を果たした。女子個人戦は、奥田真里子（第３特科隊）が初優勝した。

■団体戦（青年第１部）

試合はトーナメント方式、３分三本勝負で争われた。試合時間内に勝負が決しない場合は判定により勝敗を決し、勝者数の多いチームを勝ちとした。

▽青年第１部（高校生を除く15歳～30歳、自衛官は23歳～26歳）

決勝戦には、昨年優勝の１普連Ａ（東京）と40普連Ａ（福岡）が勝ち上がり、昨年と同じ顔合せとなった。

先鋒戦、１普連Ａ・髙木と40普連Ａ・西田が対戦。激しく攻め合い、遠間から徐々に接近戦に流れていく。膠着状態が続くと、そのまま時間切れとなって判定へ。結果、髙木に旗が３本上がり、１普連Ａが先勝。

続く中堅戦。１普連Ａ・吉岡が序盤から猛攻をかけるも、40普連Ａ・池田が冷静に捌いていく。２分経過、吉岡が池田の胴を躱し、すかさず上胴を奪う。池田はなおも吉岡の攻めを巧みに捌き切って、貴重な１勝をあげる。勝負の行方は大将戦へと持ち越された。

大将戦、１普連Ａ・福田と40普連Ａ・蛯原は互いに接近し、有効突き部位を捉えられない。２分経過、激しい突き合いの末、福田の上胴に旗が３本上がる。蛯原は反撃するも有効突きを繰り出せず、福田の一本勝で試合は終了。１普連Ａが連覇した。

青年第１部・優勝＝第１普通科連隊Ａ（東京）

◎優勝＝
1普連A（東京）・片桐裕也監督
「連覇を目標にやって来ましたが、正直ここまで来られるとは……。選手たちが熱い想いで稽古し、この大舞台でその成果を発揮してくれました。選手に感謝したいです」

■団体戦（青年第2部）

▽**青年第2部（高校生を除く15歳～23歳）**
決勝戦では、15普連（香川）と昨年優勝の1普連（東京）が対戦。
先鋒戦、15普連・増本と1普連・渡辺が対決。遠間から飛び込んで鋭い攻めを見せる両者。試合終盤、増本は守りに入った渡辺から上胴を鮮やかに奪って1普連がリードする。

青年第２部・決勝大将戦＝15普連・田嶋（左）が一本目の上胴を決める

中堅戦、15普連・大上と1普連・蚊口との試合は、体格で勝る蚊口が長いリーチを活かして上胴で先制。さらに大上を試合場際まで追い込み、足を滑らせたところに再び上胴を決めて、二本勝で星を戻した。
勝敗がかかる大将戦、15普連・田嶋が激しい突き合いで意地を見せ、1普連・豊川から上胴を奪って先制。田嶋は攻めの手を緩めることなく再び上胴を決めて二本勝。2―1で15普連が2年ぶりに優勝した。

◎優勝＝
15普連（香川）・元山圭太郎監督
「優勝を狙って全員が仕事をしてくれました。今年優勝を取り戻せたので本当に良かったです」

青年第２部・優勝＝第15普通科連隊（香川）

■女子個人戦

前年優勝の大野裕美（北海道選抜）は欠場し、大会審判員を務めた。
決勝戦はともに初優勝を狙う奥田真里子（第3特科隊）と高校1年生の石岡悠来（旭川実業高校）が顔を合わせた。
両者は積極的に前に出て攻め合う。開始1分、互いの突きが交錯すると、奥田の鋭い上胴に旗が3本揃って先制。後がない石岡は反撃の機会を狙って必死に攻める。激しい攻防が続いて、試合時間は残り30秒。奥田が石岡の構えるわずかな隙をついて鮮やかな上胴に飛び見事な一本。奥田は二本勝で嬉しい初優勝を決めた。

女子個人戦・決勝＝奥田（左）が石岡に上胴を決めて優勝

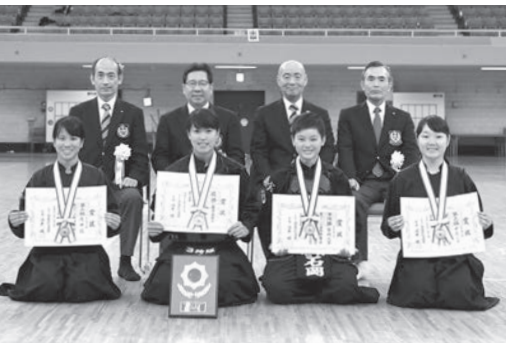
◎優勝＝**奥田真里子選手（第3特科隊）**
「自分の剣を信じて、今までやってきたことを出すことができました。来年も出場して連覇したいです」

【大会結果】

■団体戦（青年第1部）
①1普連A（東京）②40普連A（福岡）③34普連（静岡）、20普連A（山形）

■団体戦（青年第2部）
①15普連（香川）②1普連（東京）③32普連（埼玉）、42普連（熊本）

■女子個人戦
優勝＝奥田真里子（第3特科隊）
2位＝石岡悠来（旭川商業高校）
3位＝濱口　優（第1後方支援連）
中前りか（日本航空高校石川）



女子の部入賞者
（前列左から２番目＝奥田真里子選手）

好評発売中

伝えたい日本のこころ

絵と文　中村　麻美（なかむらまみ）

F4判・上製・98頁・定価（本体2700円＋税）

中村麻美（なかむら・まみ）画家・挿画家。三重県津市生まれ。県立津西高校、津田塾大学卒。大学在学中、日本画教室（田中峰雪氏に師事）にて作画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、第十八代ミス日本グランプリ、NHK BSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て、絵画を志す。大和草、茶花などを題材とした日本画の本画を制作し、書籍、雑誌、新聞、テレビ番組などで歴史もの、武人画、創業者などの挿画を手がける。また、原作新聞小説挿画を描いたNHK大河ドラマ『天地人』放映の平成十九年以降は、歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開いている。代表作に〝天地人丸紋絵巻〟（兼続お船ミュージアム所蔵）、「斎王」（三重県立斎宮歴史博物館所蔵）など。

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45点を精選。岩絵具で描いた日本画と解説文で「日本のこころ」をお届けします。

「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするため役立ちたい。よき人間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」――こうした万国共通の願い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりです。（本書「あとがき」より）

目　次

一　かしこい小僧さん
二　ひよどり越え
三　天の石屋戸
四　厳流島の決闘
五　太田道灌と少女の歌
六　三本の矢の教え
七　山中鹿介―我に七難八苦を与えたまえ
八　良寛さまと筍
九　民を慈しむ仁徳天皇
十　中江藤樹―母への薬
十一　夫の危機を救う弟橘媛
十二　良子斎王―別れの御櫛
十三　桜井駅の別れ
十四　八俣の大蛇
十五　川中島の戦い―謙信と信玄
十六　紅梅内侍と鶯の宿
十七　新羅三郎義光―笙の秘曲を授ける
十八　小松姫―夫の居城を守りぬく
十九　青の洞門
二十　鍋島直茂と接ぎ木
二十一　小林虎三郎―米百俵の精神
二十二　島津義弘―関ヶ原敵中突破
二十三　光明皇后―千人のからだを洗う
二十四　城戸俊三―勝利を捨てて愛馬を救う
二十五　松坂の一夜
二十六　柳に飛びつく蛙
二十七　称名寺『青葉の楓』
二十八　神武天皇ご東征
二十九　本多忠朝とサンフランシスコ号
三十　つるべの朝顔
三十一　野中兼山―海に捨てたはまぐり
三十二　鉢の木
三十三　因幡の白うさぎ
三十四　堪忍のわび証文
三十五　橘曙覧『独楽吟』
三十六　南総里見八犬伝
三十七　吉田松陰の志
三十八　鳥居強右衛門の勇気
三十九　明智光春―誉れの湖水渡り
四十　赤穂義士の討ち入り
四十一　頼朝を助けた梶原景時
四十二　真田幸村―大坂の陣
四十三　天照大御神と美し国・伊勢
四十四　和田勇―祖国にオリンピックを招致
四十五　長岡花火『白菊』
あとがき

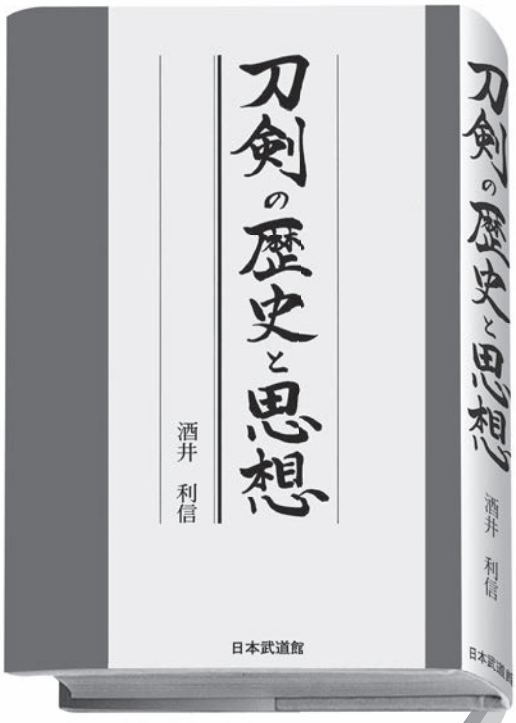
編集・発行　公益財団法人日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp
お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

◎好評発売中

刀剣の歴史と思想

筑波大学教授　酒井利信　著

四六判・上製・346頁・本体2400円＋税



刀剣を単なる武器としてではなく、神聖なものとして捉える思想とは何か―

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

題字揮毫―鹿島神宮　鹿島則良　宮司

目　次

序　章
第一節　探求の旅をはじめるにあたって
第二節　刀剣の歴史
第一章　刀剣思想の源流
第一節　古代中国の宝剣伝説　太阿の剣
第二節　干将莫耶の宝剣伝説
第三節　高祖の斬蛇剣
第四節　道教と剣
第五節　古代朝鮮の刀剣思想
第二章　神話的イメージの形成
第一節　神話的世界の形成と剣神の誕生
第二節　天より降る剣　韴霊剣
第三節　天地を繋ぐ剣　草薙剣
第三章　信仰のなかの刀剣思想
第一節　祀る剣　祀られる剣
第二節　辟邪の呪剣
第三節　うけいの呪術と剣
第四節　修験道と剣
第四章　中世における刀剣思想
第一節　三種の神器の不思議
第二節　『平家物語』にみる三種の神器
第三節　『太平記』が語る草薙剣像
第五章　近世剣術における刀剣思想
第一節　剣術伝書に語られる日本神話
第二節　新当流にみる霊剣の技術
第三節　示現流にみる心の利剣
第四節　近世剣術における刀剣思想の展開
第六章　近現代における刀剣思想
第一節　近代以降の刀剣思想
第二節　古代と現代を繋ぐ刀剣
～鹿島神宮日本刀奉納鍛錬～
終　章　～稽古照今～

編集・発行　日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

第52回全国道場少年剣道大会

●小学生の部

洗心道場(愛知)が歓喜の初優勝

決勝大将戦＝洗心道場・加藤（右）が攻める

第52回全国道場少年剣道大会（主催＝全日本剣道道場連盟）は7月25日・26日に日本武道館で開催された。大会には全国の予選を勝ち上がった小・中学生978チーム約4900人が出場して5人制の団体戦で熱戦を繰り広げた。

初日の小学生の部では、洗心道場（愛知）が大会3連覇を目指した昭島中央剣友会（東京）に競り勝ち、嬉しい初優勝に輝いた。

2日目の中学生の部では、九好会（熊本）が福岡如水館（福岡）を破り、3年ぶり4回目の優勝を果たした。

初優勝して嬉し涙を流す洗心道場の選手たち

試合時間は、小学生が2分、中学生が2分30秒の3本勝負を行い、勝者数・総本数が同じ場合は、任意選出による代表戦を行い、時間無制限の1本勝負で勝敗を決した。

■小学生の部（25日・551チーム）

4強に勝ち残ったのは、洗心道場（愛知）、昭島中央剣友会（東京）、東松舘道場（東京）、福岡如水館（福岡）の4チーム。

準決勝第1試合、昭島中央剣友会と東松舘道場の対戦は、先鋒戦と次鋒戦を引き分け、中堅戦を迎える。昭島中央剣友会・阿部と東松舘道場・島村は互角の攻防を見せるが、終盤に阿部が面の打ち合いを制して一本勝ち。続く副将戦では、東松舘道場・橋本が試合開始早々に面を奪うと、そのまま一本勝ち。勝ち数・本数で並ぶ。大将戦は引き分け、勝敗の行方は代表戦に持ち越される。代表戦は昭島中央剣友会・阿部と、東松舘道場・橋本が対戦。試合開始から約2分、互いに面の打ち合いになり、阿部の面がわずかに早く決まって昭島中央剣友会が3年連続で決勝に進出した。

準決勝第2試合は、洗心道場と福岡如水館の顔合わせ。先鋒戦は、福岡如水館・秋月が開始直後に跳び込み面で先制する。しかし、洗心道場・木村も、秋月が手元を浮かせた隙を逃さず小手を決めて引き分けに持ち込む。次鋒戦から副将戦までは互いに有効打突のないまま引き分け、迎えた大将戦。試合終盤、洗心道場・加藤は、福岡如水館・阪東の面を読み、その動きに合わせて鋭い小手を決めて一本勝ち。洗心道場が決勝に駒を進めた。

準決勝大将戦＝洗心道場・加藤（左）が面に跳ぶ

■決勝

洗心道場　2―1　昭島中央剣友会

先鋒　木村慎之介　―メメ池田朝陽

次鋒　佐藤良磨　ド―　大越　心

中堅　森島一稀　×　阿部　暁

副将　石原稜晟　×　橋本一吹

大将　加藤　匠メメ―　塩崎煌文

先鋒戦は昭島中央剣友会・池田が面2本で二本勝ち、次鋒戦は洗心道場・佐藤が胴で一本勝ち。中堅戦、副将戦は引き分ける。大将戦、優勝の望みをかけて洗心道場・加藤は序盤から攻めていく。対照的に、昭島中央剣友会・塩崎は無理に攻めない。試合終盤、加藤が思い切った面で一本を奪う。追い込まれた塩崎は取り返そうと前に出て胴を狙う。この動きに反応して、再び加藤が面を奪い、見事な二本勝ちで洗心道場を初の日本一に導いた。

決勝先鋒戦＝昭島中央剣友会・池田（右）が面を決める

優勝＝洗心道場（愛知）

◎優勝＝洗心道場・内田信之監督

「優勝はまだ信じられないです。うちは親鸞上人（しんらんしょうにん）の真宗大谷派の別院の道場ですから、仏様の力が乗り移ったみたいです。それと道場が織田信秀（おだのぶひで）公のお城の跡地なので、武運があったのかもしれません。子供たちは決して器用ではないのですが、よく頑張ってくれました。道場には『攻めて勝つ』と書いてあり、攻める剣道しか教えていません。守りに入ったらダメなので、選手にも先につくって攻めて、攻撃の中で返していけと伝えました。来年の目標は優勝ではなく、まず愛知の予選をしっかり勝ち抜くことです」

準優勝＝昭島中央剣友会（東京）

◎優勝＝洗心道場大将・加藤匠選手

「すごく達成感があってうれしいです。みんなで優勝しようと思って頑張りました。今日を自己採点すると90点で、大会序盤からエンジンをかけられなかったことが残りの10点です。来年は中学生なので、上の学年の人にも勝てるように頑張ります」

●中学生の部

九好会(熊本)が4度目の栄冠

決勝次鋒戦＝九好会・鮫島（右）が小手で二本勝ちを決める

■中学生の部（26日・427チーム）

ベスト4には、九好会（熊本）、福岡如水館（福岡）、昭島中央剣友会（東京）、昇龍館一福道場（岡山）が進出。

準決勝第1試合、九好会と昭島中央剣友会の顔合わせ。先鋒戦は引き分け、続く次鋒戦は、九好会・鮫島と昭島中央剣友会・大澤が対戦。鮫島は大澤の引き面に合わせて見事な引き小手を決めて一本勝ち。中堅戦、副将戦は引き分け、大将戦へ。九好会・荒木と昭島中央剣友会・河西が序盤から激しく攻め合う中、荒木が出小手で先制。荒木はこの後、再度小手を奪って二本勝ち。九好会が3年ぶりの決勝進出を決めた。

準決勝第2試合は、福岡如水館と昇龍館一福道場が対戦。先鋒戦と次鋒戦は引き分け、中堅戦は福岡如水館・市川と昇龍館一福道場・内匠が対戦。市川は鍔競り合いから軽快な引き面を決めて一本勝ち。続く副将戦では、福岡如水館・矢野が開始早々に引き面で先制する。試合はそのまま動かずに終了し、この時点で福岡如水館の勝利が確定。福岡如水館は大将戦も勝利して11年ぶりの決勝進出を果たした。

準決勝大将戦＝九好会・荒木（左）が出小手で先制

■決勝

九好会　1(4)—1(3)　福岡如水館

先鋒　手塚智樹　—コ　橋垣龍之介
次鋒　鮫島雅貴メコ—　御手洗さくら
中堅　平尾尚武　×　市川きらり
副将　坂本　陸　メ—コ　矢野将利
大将　荒木京介　ド—コ　小畔　直

先鋒戦は、福岡如水館・橋垣が中途半端に間合いを詰めた九好会・手塚から小手を奪って一本勝ち。次鋒戦は九好会のメンバーで唯一の2年生鮫島と福岡如水館・御手洗の試

決勝大将戦＝九好会・荒木（右）が胴を攻める

決勝副将戦＝福岡如水館・矢野 (左) が小手を決めて意地を見せる

合。鮫島が跳び込み面で先制すると、試合再開直後、鮫島は面を攻められて手元を上げた御手洗にすかさず小手を決めて貴重な二本勝ちを収める。中堅戦は引き分け、続く副将戦。九好会・坂本が引き面を決めるも、約1分後に福岡如水館・矢野が鋭い小手を返して引き分けに持ち込む。大将戦、先制したのは九好会・荒木。福岡如水館・小畔に鮮やかな面返し胴を決める。しかし、小畔は足の止まった荒木に小手を決めて反撃。さらに、小畔は一本を狙って攻め続けるも、荒木は小畔の反撃を防ぎ切り、試合終了。接戦をものにした九好会が3年ぶり4度目の優勝を果たした。

優勝＝九好会（熊本）

◎優勝＝九好会・〆一司監督

「福岡如水館さんには初めて勝てたので出来過ぎかなと思います。後半少しミスが目立ったので、夏の全国中体連では修正したいです。選手は次鋒が2年生で、あとは3年生です。怒りながらなんとか上位に進出できました。稽古内容を含めて様々な面で、まだまだ満足いく状態ではありません。今後の大会では自分たちで壁を乗り越えられるようになってほしいです」

準優勝＝福岡如水館（福岡）

◎優勝＝九好会次鋒・鮫島雅貴選手

「とてもうれしいです。自分からつくって間合いに入って、入ったら必ず打て、決めて打てと言われていました。決勝では自分が一本取らないと、とは考えずに自分の剣道をしようと思って臨みました。自分が勝って後ろに繋げられたので嬉しいです。来年は新チームになるので、二連覇を目指して頑張っていきます」

【大会結果】

◆小学生の部

◎優　勝＝洗心道場（愛知）

○準優勝＝昭島中央剣友会（東京）

▽第3位＝東松館道場（東京）

　福岡如水館（福岡）

◆中学生の部

◎優　勝＝九好会（熊本）

○準優勝＝福岡如水館（福岡）

▽第3位＝昭島中央剣友会（東京）

　昇龍館一福道場（岡山）

心技体 人を育てる総合誌
月刊 武道

役に立つ少年剣道指導法

山神眞一 著
（香川大学教授・同学部長、医学博士、剣道教士八段）

好評発売中

少年剣道指導の現場で役に立つ月刊「武道」好評連載を単行本化。現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。少年剣道指導者必読の一書。

付録のＤＶＤには、写真では伝え切れなかった実技関連の部分を収録時間１１５分を超える映像で紹介。

解説ＤＶＤ付属！

Ａ５判・並製・２５６頁・ＤＶＤ付・本体２４００円＋税

目　次

第一章　一眼～子どもと少年剣道の今を眼る
現代の子どもの体と心を見つめ直す／少年剣道の現状と課題／少年剣道に対する保護者の声

第二章　二足～少年剣道の足跡とこれから
現代剣道復活の道程とこれからの少年剣道／剣道の国際化と少年剣道の未来／少年剣道拡大の秘密を探る

第三章　三胆～指導者の胆力を求めて
少年剣道における指導者の在り方／文武両道と少年剣道／コミュニケーション力と人材育成の極意

第四章　四力～技の力を学ぶ
剣道のアイスブレーキング／礼法について～立礼と座礼／木刀・竹刀を使用した構えと素振りの対人的指導法／切り返しの段階的指導法／基本打突の打ち方と打たせ方／連続技の打ち方と打たせ方／払い技の打ち方と打たせ方／引き技の打ち方と打たせ方

第五章　残心
海外での剣道事情／中学校における剣道授業

あとがき

編集・発行　公益財団法人　日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

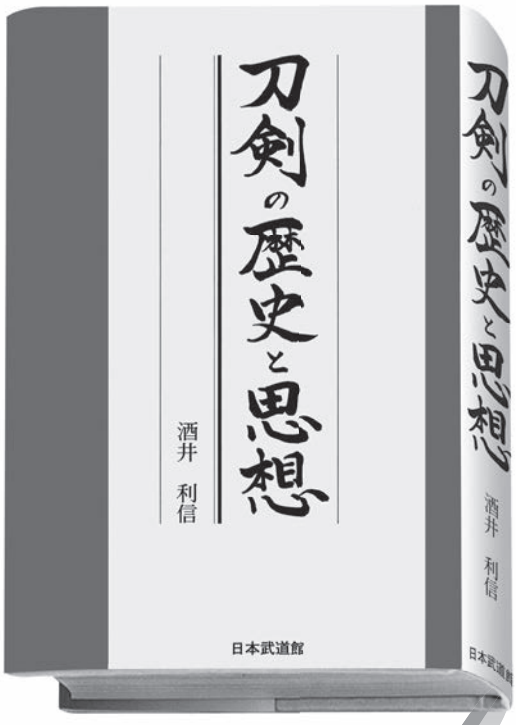
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

◎好評発売中

刀剣の歴史と思想

筑波大学教授　酒井利信　著

四六判・上製・346頁・本体2400円＋税



刀剣を単なる武器としてではなく、神聖なものとして捉える思想とは何か―

日本独自の展開をみせてきた刀剣に関する思想を、中国、朝鮮など、東アジアにまでルーツをたどりながら、確かな史料を基に考察。古事記・日本書紀に語られる神話、平家物語・太平記などにみられる三種の神器にまつわる記述、鹿島新當流、示現流に伝わる伝書といった歴史的文献を読み解き、日本刀剣思想のオリジナリティを浮かび上がらせる。

題字揮毫―鹿島神宮　鹿島則良　宮司

目　次

序　章
第一節　探求の旅をはじめるにあたって
第二節　刀剣の歴史

第一章　刀剣思想の源流
第一節　古代中国の宝剣伝説　太阿の剣
第二節　干将莫耶の宝剣伝説
第三節　高祖の斬蛇剣
第四節　道教と剣
第五節　古代朝鮮の刀剣思想

第二章　神話的イメージの形成
第一節　神話的世界の形成と剣神の誕生
第二節　天より降る剣　韴霊剣
第三節　天地を繋ぐ剣　草薙剣

第三章　信仰のなかの刀剣思想
第一節　祀る剣　祀られる剣
第二節　辟邪の呪剣
第三節　うけいの呪術と剣
第四節　修験道と剣

第四章　中世における刀剣思想
第一節　三種の神器の不思議
第二節　『平家物語』にみる三種の神器
第三節　『太平記』が語る草薙剣像

第五章　近世剣術における刀剣思想
第一節　剣術伝書に語られる日本神話
第二節　新当流にみる霊剣の技術
第三節　示現流にみる心の利剣
第四節　近世剣術における刀剣思想の展開

第六章　近現代における刀剣思想
第一節　近代以降の刀剣思想
第二節　古代と現代を繋ぐ刀剣
～鹿島神宮日本刀奉納鍛錬～

終　章　～稽古照今～

編集・発行　日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

第28回全国都道府県中学生相撲選手権大会

熊本県が22年ぶりに優勝

団体戦決勝・大将戦＝熊本・川上（左）が石川・白神を下手投げで降す

第28回全国都道府県中学生相撲選手権大会（主催＝日本相撲連盟）は8月6日、東京・両国の国技館で行われた。大会には選手224名が参加。団体戦と個人戦（無差別級と軽量級の2階級）で覇を競った。

大会は3人制の団体戦予選（各3試合）から始まり、個人軽量級、個人無差別級、団体戦決勝トーナメントが行われた。

個人戦は、軽量級では川上竜昌（熊本）が初優勝し、無差別級で向中野真豪（鳥取）が決勝で山本剛瑠（三重）を降して初優勝。

団体戦は、熊本県が決勝で石川県を破って、22年ぶり2度目の優勝を遂げた。川上は個人軽量級と併せて2冠を達成した。

■個人戦　軽量級

軽量級には都道府県の代表47名が出場。トーナメント方式で覇を争った。ベスト8には山下立真（石川）、番場裕太（神奈川）、水沼湧（愛媛）、相馬良亮（青森）、川上竜昌（熊本）、加藤真基（東京）、井ノ上豪志（和歌山）、松永颯斗（岐阜）が残った。

▽準々決勝

山下立真　○切り返し　番場裕太
水沼　湧　○引き落とし　相馬良亮
川上竜昌　○波離間投げ　加藤真基
井ノ上豪志　○送り投げ　松永颯斗

山下対番場は、山下が立合で低く当たると、左を差して番場の右脇に頭を入れ、後方に捻り倒して切り返しで山下の勝ち。

水沼対相馬は、立合で水沼が左に変化すると、相馬はこれに対応できず、引き落とされて土俵に倒れた。

川上対加藤は、土俵際で川上が低い体勢の加藤を右で差して、そのまま捻り飛ばした（波離間投げ）。

井ノ上対松永は、立合で井ノ上が右に変化し、松永の背後をとって送り投げを決めた。

▽準決勝

山下立真　掬い投げ○　水沼　湧

立合、水沼が低い体勢で一気に土俵際に寄るものの、山下は土俵際で踏ん張る。水沼がすかさず左に差して山下を掬い投げた。

川上竜昌　○吊り出し　井ノ上豪志

互角の立合から、川上は井ノ上を上から抑えにかかる。堪えた井ノ上

が川上の右脇に頭を入れて寄っていく。最後は諸差しになった川上が井ノ上を吊り出した。

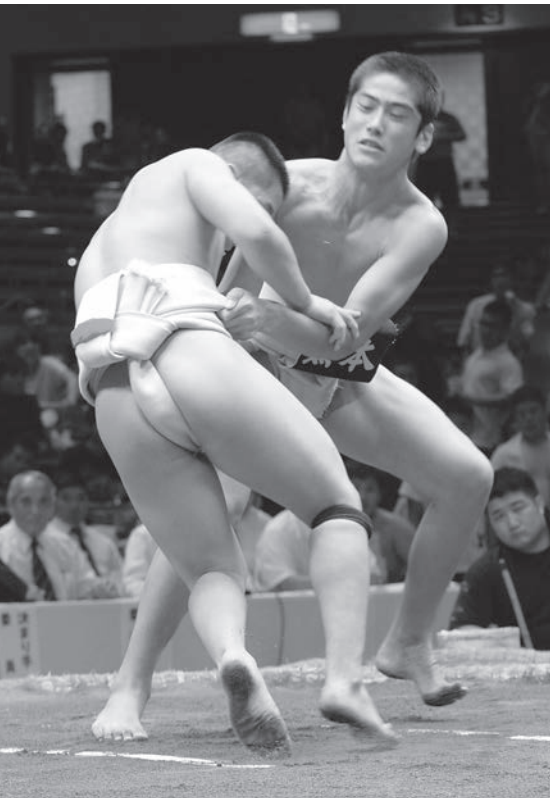
▽決勝
川上竜昌　○突き落とし　水沼　湧

立合で水沼が攻勢に出て、川上を左右に振る。堪えた川上は左に差すと下手で水沼を突き落とす。そのまま、水沼は引き落とされる形で膝を着くと、川上の優勝が決まった。

◎優勝＝川上竜昌選手（熊本）

「前々から狙っていましたが、自分でも信じられないです」

川上選手は大相撲の尾上親方（元小結・浜ノ嶋）の甥で、5歳上の兄は、尾上部屋の三段目・竜虎（19）。



個人戦軽量級・決勝＝川上（右）の突き落とし

「兄の突っ張る相撲に比べて、自分にはそこまで力はありません。自分の形になる取りやすい相撲をして観客を盛り上げていきたいです。大相撲に入りたいですが、まずは文徳高校で鍛えたいです」と兄の出身高校名をあげて将来の夢を語った。

■個人戦　無差別級

無差別級には団体予選3試合で2勝以上をあげた70選手が出場した。

小学生時代にわんぱく相撲を2連覇した注目の成田力道（鳥取）は、ベスト8をかけた4回戦で山本剛瑠（三重）に寄り倒され、姿を消した。

準々決勝には粂貞（山形）、江連春樹（茨城）、延原闘真（大阪）、向中野真豪（鳥取）、伊藤寧（千葉）、落合哲也（鳥取）、武井朔太郎（静岡）、山本剛瑠（三重）が勝ち上がった。

▽準々決勝
粂　貞　○掬い投げ　江連春樹
延原闘真　寄り切り○　向中野真豪
伊藤　寧　○寄り切り　落合哲也
武井朔太郎　寄り倒し○　山本剛瑠

粂対江連は、粂が土俵際まで寄せてきた江連を掬い投げた。

延原対向中野は、向中野が立合で右上手をとって寄り切った。

伊藤対落合は互角の立合ながら、伊藤が素早く右上手をとってそのまま寄り切った。

武井対山本は、武井が一気に土俵際に寄るも、山本が持ち直し、そのまま勢いよく武井を寄り倒した。

個人戦無差別級・準決勝＝向中野（手前）対粂

▽準決勝
粂　貞　送り出し○　向中野真豪

向中野は左で筈押しすると、粂の体が持ち上がる。向中野が粂の背後をとると、そのまま送り出して向中野の勝利。

伊藤　寧　押し出し○　山本剛瑠

立合、山本が伊藤の顎を押し上げて土俵際に寄るが、伊藤は堪えて回り込む。さらに山本が左を差して寄り、伊藤を押し出して勝利した。

個人戦無差別級・準決勝＝山本（左）対伊藤

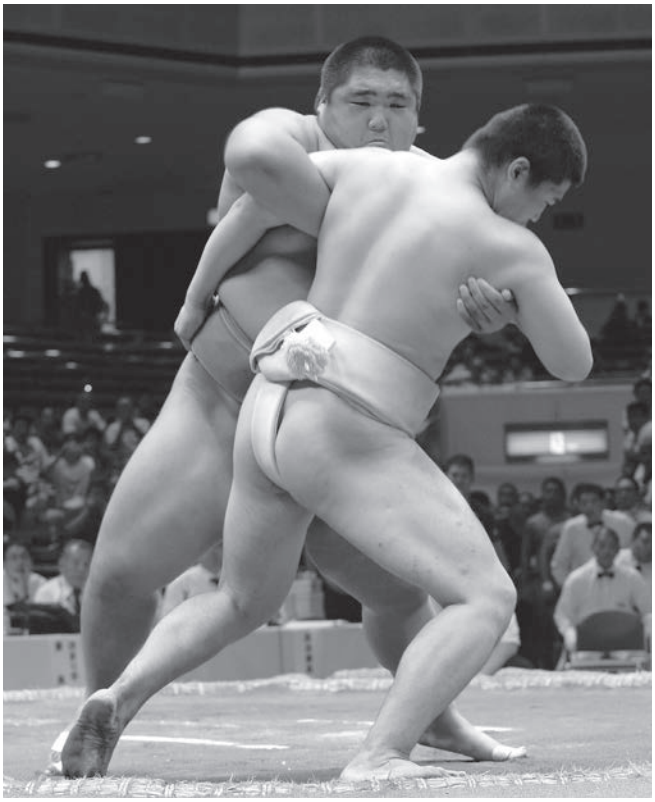
▽決勝

向中野真豪　○寄り切り　山本剛瑠

左四つになり、山本が下手投げを打つが向中野は堪える。すぐさま向中野は体勢を崩した山本を寄り切りにいく。山本が土俵を割り、向中野が初優勝を手にした。

◎優勝＝向中野真豪選手（鳥取）

「監督に優勝を狙えると言われ、目標にしていたので嬉しいです。準々決勝での延原くんとの対戦が山場で、小学校の頃からライバル視していた相手です。全中では団体優勝できるように頑張っていきたいです」



個人戦無差別級・決勝＝向中野（奥）が寄り切った

個人戦無差別級・優勝＝
向中野真豪選手（鳥取）

■団体戦

団体戦は3人制で行われた。47チームが予選で各3試合を行い、上位16チームが決勝トーナメントに進出した。決勝トーナメントで前回優勝の石川県はベスト4に進み、同準優勝の熊本県は準々決勝で高知県と対戦して3―0でこれを退け、ベスト4進出を決めた。その他に準決勝進出を決めたのは栃木県、鳥取県。

▽準決勝

栃木県　1―2　熊本県

北野颯馬　引き落とし○　花岡真生

相馬健人　○寄り切り　川副楓馬

竹田章一郎　腕捻り○　川上竜昌

先鋒戦、互角の立合から熊本・花岡が栃木・北野に押し出されそうになるが、左で脇を抱えるように引き落として先勝。中堅戦は、栃木・相馬が、がぶり寄って星を戻す。大将戦は熊本・川上が立合で低く当たると、うまく相手の懐（ふところ）に潜り込み、右後方に捻り倒して腕捻（かいなひね）りで川上の勝ち。2―1で熊本が決勝進出を決めた。

鳥取県　1―2　石川県

向中野真豪　○押し出し　堺井勇希

成田力道　引き落とし○　可貴秀太

落合哲也　小手投げ○　白神嶺治

団体戦準決勝第2試合・大将戦＝
石川・白神（上）が試合を決めた

団体戦準決勝第1試合・先鋒戦＝
熊本・花岡（右）が引き落とした

先鋒戦、鳥取・向中野は石川・堺井を土俵際に追いつめるとそのまま押し出して1勝をあげる。中堅戦、石川・可貴は鳥取・成田の両脇を掬い、引き落として星を引き戻す。大将戦は石川・白神が、小手投げで鳥取・落合を降し、2―1の逆転で石川が2年連続となる決勝の舞台へ。

団体戦決勝・中堅戦＝熊本・川副（右）が寄り倒して相星に

▽決勝

熊本県	**2―1**	**石川県**
花岡真生	**下手投げ○**	**堺井勇希**
川副楓馬	**○寄り倒し**	**可貴秀太**
川上竜昌	**○下手投げ**	**白神嶺治**

決勝は昨年と同じ顔合せとなった。先鋒戦、石川・堺井は立合から低く当たって、熊本・花岡の胸に頭をつけ、左下手を持って寄るが、花岡は土俵際で踏ん張る。花岡が掬い投げを打つが堺井は堪える。今度は堺井が上手投げを打つ。左四つになると、堺井は花岡を下手投げで倒し、先勝した。

中堅戦、立合で両者がぶつかり、熊本・川副は左下手を取る。そのまま土俵際に押し込むと、石川・可貴は何もできずに寄り倒される。

勝負のかかる大将戦、体重70キロの熊本・川上と140キロの石川・白神の対戦。白神は川上に上手投げを打つが川上は堪える。土俵際に追い込まれた川上は白神に渾身の左下手投げを打つと、白神は土俵際に倒れる。2―1の逆転劇を見せた熊本は昨年の雪辱を果たして、22年ぶりの優勝を遂げた。

◎優勝＝高濱壽夫監督（熊本）

「監督として団体で全国優勝するのは初めてです。去年と丸っきりメンバーが変わり、この大会が初めての子もいて、最初は固く、顔も真っ青でした。徐々に調子を取り戻して、最後はのびのびやれたと思います。全中でも念願の団体優勝できるよう頑張りたいと思います」

団体戦・優勝＝熊本県
（左から花岡選手、川副選手、川上選手）

個人戦軽量級優勝＝川上竜昌選手（熊本）

【大会結果】

■個人戦

▽軽量級＝①川上竜昌（熊本）②水沼　湧（愛媛）③山下立真（石川）、井ノ上豪志（和歌山）

▽無差別級＝①向中野真豪（鳥取）②山本剛瑠（三重）③粂　貞（山形）、伊藤　寧（千葉）

■団体戦＝①熊本県②石川県③栃木県、鳥取県

漫画家・
別府大学教授　田代しんたろう　著

マンガ・武道の偉人たち

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯を描く！

B5判・302頁・本体1000円＋税

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」。
人気を博した「武道の偉人」シリーズが単行本化！
柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道の現代武道9道の普及・発展に尽力した偉人たちの生涯を通じて、各道の歴史をひも解きます。
大人も子どもも楽しく読んで、歴史も学べる武道教養マンガ。

収録偉人一覧

嘉納治五郎（柔道）　高野佐三郎（剣道）　阿波研造（弓道）　双葉山（相撲）
船越義珍（空手道）　植芝盛平（合気道）　宗道臣（少林寺拳法）
園部秀雄と美田村千代（なぎなた）　鵜沢尚信（銃剣道）

編集・発行　公益財団法人日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

◎ 日本武道館発行 書籍のご案内

大東流合気柔術 琢磨会 その技法と合気之術

大東流合気柔術琢磨会総務長 **森 恕** 著

中興の祖・武田惣角から久琢磨に、そして森恕に受け継がれた神秘の武術。小手を駆使した関節技・急所技から、抜き合気・入れ合気・触れ合気・前肩詰め合気などの合気之術まで、今まで門外不出とされてきた数々の技法の神髄と極意を、琢磨会総務長が明らかにする。

四六判・上製・238頁・2000円＋税

写真と記事でたどる 武道の近代史

杉江正敏 著

月刊「武道」1999年1月号から2001年3月号までの27回連載をまとめた杉江正敏先生のライフワーク。
明治以降出版された諸雑誌の記述から、武道を取り巻く日本文化や、体育・スポーツ全般にわたる内容を掲載した記事を紹介する形で、武道がどのように近代化へと歩みを進めてきたのかを明らかにするための基礎資料集。

B5判・182頁・本体1,000円＋税

伝えたい日本のこころ

絵と文 **中村麻美**

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45話を精選。岩絵具で描いた日本画と解説文で「日本のこころ」をお届けします。「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするため役立ちたい。よき人間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」――こうした万国共通の願い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりです。（本書「あとがき」より）

F4判・上製・96頁・本体2,700円＋税

日本の古武道

古流武術研究家 **横瀬知行** 著

直接取材による2000枚の写真と未公開資料で古流の全貌を紹介！
日本の古武道には長い歴史と伝統があり、流祖に始まる一子相伝の脈々たる生命の大河を貫く知恵と経験が、一つの見事な体系となって現代に伝えられている。

B5判・上製・箱入・462頁・本体5,000円＋税

平法 天真正伝香取神道流

天真正伝香取神道流師範 **大竹利典** 著

香取神道流の歴史、剣術・居合術・薙刀術・手裏剣術などの武術、方術・築城術などの遁甲術や軍学兵法を、伝書を基に紹介。さらに、七十年近い修行人生を振り返り、武を志す全ての者に必要な「平法（へいほう）」の思想について語る。

四六判・上製・296頁・本体2,400円＋税

武道伝書を読む

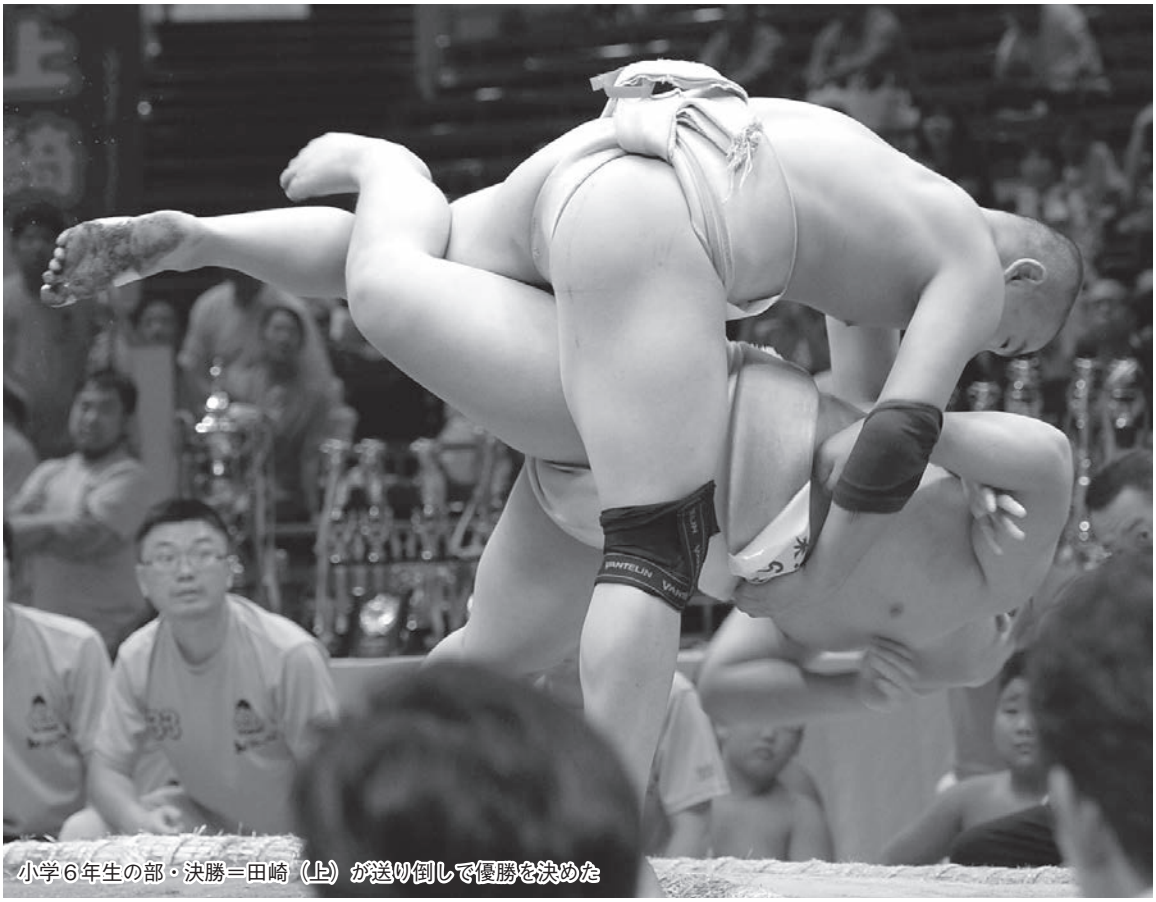
天理大学教授 **湯浅 晃** 著

新たな視点で伝書に問いかける…。
具体的関心や課題に照らして主体的に伝書を読んでください。
技術・教育・経営・管理、思想、生き方、人間関係が学べます。

四六判・上製・348頁・本体2,400円＋税

お問合せ・ご注文はこちらまで　公益財団法人 **日本武道館**　TEL 03-3216-5147 ／ FAX 03-3216-5158
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3　http://www.nipponbudokan.or.jp

第33回わんぱく相撲全国大会



小学６年生の部・決勝＝田崎（上）が送り倒しで優勝を決めた

６年生　（河内音頭）

田崎正美がわんぱく横綱に

５年生は福原丈一朗（宇和島）が連覇、４年生は児玉颯飛（東京選抜）が横綱に

第33回わんぱく相撲全国大会（主催＝日本相撲協会、東京青年会議所）は7月30日、東京・両国の国技館で開かれ、小学４・５・６年生の３部でわんぱく横綱を目指した熱い闘いが繰り広げられた。

６年生の部では田崎正美（河内音頭）が初のわんぱく横綱の座についた。５年生の部は福原丈一朗（宇和島）が連覇し、４年生の部は児玉颯飛（東京選抜）がわんぱく横綱に輝いた。

また、個人戦の成績の合計で競われる団体戦では、河内音頭（大阪）が優勝し、田崎は個人・団体の２冠を手にした。

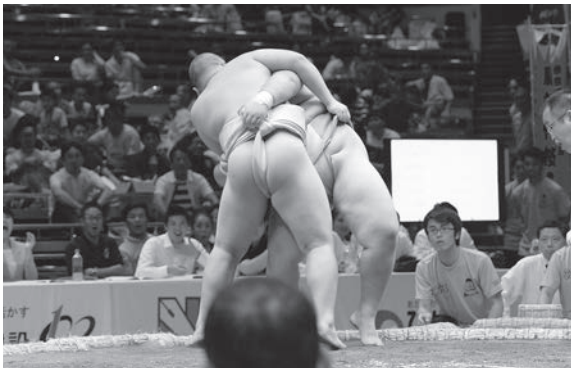
■６年生の部（132名出場）

４年生・５年生の部を連覇した山下昇介（鹿屋）は順当に勝ち上がり、３連覇を目指して準々決勝進出を決めた。その他にベスト８に進出したのは、田崎正美（河内音頭）、中川球太郎（だんじり）、松田天（鳥取Ａ）、相野祥吾（千葉県選抜）、市来崎大祐（奄美大島）、鈴木真実（焼津）、竹口広徳（七尾）。

小学６年生の部・準々決勝＝田崎（右）対山下

小学６年生の部・準々決勝＝相野（手前）対市来崎

小学６年生の部・準決勝＝田崎（左）対松田



小学６年生の部・準決勝＝相野（手前）対鈴木

▽準々決勝

山下昇介　押し出し○　田崎正美
中川球太郎　押し出し○　松田　天
相野祥吾　○叩き込み　市来崎大祐
鈴木真実　○寄り切り　竹口広徳

田崎対山下は、押しの一手で攻めて田崎が山下を押し出し、早くも有力候補を沈めた。

中川対松田は、松田ががぶり寄る形で、最後は中川を押し出した。

相野対市来崎は、相野が左に変化し、よろけた市来崎を叩き込んで勝利した。

鈴木対竹口は、左四つで鈴木が竹口を寄り切った。

▽準決勝

田崎正美　○押し倒し　松田　天

立合、低く当たった田崎は一気に体を伸ばして全身で松田を押し出していき、松田は成す術なく土俵を割った。田崎は4年生の時に成し遂げられなかった決勝進出を果たした。

相野祥吾　○寄り倒し　鈴木真実

相野が立合で鋭く当たると、相野が鈴木の顎を押し上げて土俵際に寄る。両者が左四つになると、相野は一気に鈴木を寄り倒して決勝進出を決めた。

▽決勝

田崎正美　○送り倒し　相野祥吾

互角の立合で、両者が低く当たっていく。土俵際で相野がうっちゃりを仕掛けるが田崎は逃れる。田崎は低い体勢で右を差し、相野を一気に土俵際まで追い詰める。最後は土俵際で一本背負いを打とうとする相野をすかさず田崎が送り出し、相野が土俵際に倒れる。田崎は廻しを取らせない相撲で、悲願のわんぱく横綱となった。

◎優勝＝田崎正美選手（河内音頭）

「山下君を目標にずっと練習して、やっと勝つことができました。（決勝は）ここで負けるわけにはいかないという気持ちでした。相手に廻しを絶対に取らせず、体を起こさないようにと臨みました」

心技体 人を育てる総合誌
月刊 武道

■5年生の部（131名出場）

土俵入りで武蔵丸親方（元横綱）に教わった見事な雲龍型を見せたは昨年わんぱく横綱の福原丈一朗（宇和島）。福原は危なげない試合展開を見せて準決勝に進出。他の進出者は城皓貴（大阪城）、上野響哉（大田区）、篠宗磨（新潟）の3名。

小学５年生の部・準決勝＝上野（右）対城

小学５年生の部・準決勝＝福原（左）対篠

▽準決勝

城　皓貴　押し出し○　上野響哉

両者互角の立合を見せるも、城は体重差31キロ差の上野に力なく押し出される。上野は決勝に駒を進めた。

福原丈一朗　○押し出し　篠　宗磨

篠は低い体勢で福原にあたりに行くが、福原は動じない。福原はかまわずジリジリと前に出続け、最後は篠を押し出して決勝進出を決めた。

小学５年生の部・決勝＝福原（右）対上野

▽決勝

上野響哉　寄り切り○　福原丈一朗

福原は立合から一気に上野を押し出しにいく。負けじと上野も体勢を低くし、押し戻す。福原は素早く巻き替えして、諸手差しで吊るように寄っていくと、体重差を物ともせず土俵際で上野をそのまま寄り切った。福原は2年連続のわんぱく横綱を手にした。

◎優勝＝福原丈一朗（宇和島）

「2連覇する気で精一杯闘いました。決勝まで自分のいい形を作ることでき、勝つことができたのでとても良かったと思います」

昨年度５年生横綱＝山下昇介選手による土俵入り

昨年度４年生横綱＝福原丈一朗選手による土俵入り

■4年生の部（131名出場）

準決勝に進出したのは、大谷夏希（備前）、小林梅太（八代）、山下正清（鹿屋）、1月29日開催の「第七回白鵬杯」（小学校3年生の部）を制した児玉颯飛（東京選抜）。

▽準決勝

大谷夏希　上手投げ○　小林梅太

土俵中央で互角の勝負を演じるが、大谷が小林に徐々に寄る。土俵際になると、小林はうまく回り込んで左上手投げを決め、決勝進出を決めた。

山下正清　叩き込み○　児玉颯飛

立合は、山下が低い姿勢で当たっていくが、児玉は山下の肩に諸手を当てがって抑え込み、絶妙な叩きで山下は土俵中央にバッタリ。

▽決勝

小林梅太　引き落とし○　児玉颯飛

小林は低く当たってきた児玉の肩を押していく。児玉は後退するが逆襲に転じ、素早く左に反転すると小林は勢い余って前のめりになり、児玉が引き落として小林は倒れこむ。児玉が横綱の座を射止めた。

◎優勝＝児玉颯飛（東京選抜）

「緊張しましたが、結構いい当たりだったので自信はありました。憧れの力士の白鵬がいっぱい勝っているので、オレもいっぱい勝ちたいと思います。これからもしっかり相撲を取っていきたいです」

小学４年生の部・準決勝＝小林（左）対大谷

小学４年生の部・準決勝＝児玉（右）対山下

小学４年生の部・決勝＝児玉（右）が引き落としで小林を降した

団体・優勝＝河内音頭（大阪府）

【大会結果】

■小学6年生の部
◎横綱＝田崎正美（河内音頭）
○大関＝相野祥吾（千葉県選抜）
▽関脇＝松田　天（鳥取A）
　鈴木真実（焼津）

■小学5年生の部
◎横綱＝福原丈一朗（宇和島）
○大関＝上野響哉（大田区）
▽関脇＝篠　宗磨（新潟）
　城　皓貴（大阪城）

■小学4年生の部
◎横綱＝児玉颯飛（東京選抜）
○大関＝小林梅太（八代）
▽関脇＝山下正清（鹿屋）
　大谷夏希（備前）

好評発売中

マンガ・武道の偉人たち

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯を描く！

漫画家
別府大学客員教授
田代しんたろう 著

B5判・並製・302頁・本体1000円＋税

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」。人気を博した「武道の偉人」シリーズが単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道の現代武道9道の普及・発展に尽力した偉人たちの生涯を通じて、各道の歴史をひも解きます。

大人も子どもも読んで楽しく、歴史も学べる武道教養マンガ。

収録偉人一覧

嘉納治五郎（柔道）　高野佐三郎（剣道）　阿波研造（弓道）　双葉山（相撲）
船越義珍（空手道）　植芝盛平（合気道）　宗道臣（少林寺拳法）
園部秀雄と美田村千代（なぎなた）　鵜沢尚信（銃剣道）

編集・発行　公益財団法人日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp
お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本

日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）

BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）

武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）

大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）

マンガ・武道のすすめ

漫画家・別府大学教授 **田代しんたろう 著**

（B5判・236頁）

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

合気道は4話を掲載！

多田宏先生

磯山博先生

菅沼守人先生

東北大学学友会合気道部

特集

平成29年度 全日本少年少女武道錬成大会

心身を鍛える錬成の夏

平成29年度全日本少年少女武道錬成大会は、7月16日の合気道から始まり、弓道（17日）、剣道（22日・23日）、空手道（29日）、柔道（30日）、銃剣道（8月2日）、少林寺拳法（5日）、なぎなた（6日）の8種目9日間、全国から延べ約1万7000名が参加して、日本武道館で開催された。

いずれの種目も早朝より開場を待ちわびる参加者の行列が武道館前にできる賑わいぶり。大会参加者は日本武道館という檜舞台（ひのきぶたい）で一生懸命、基本錬成、試合錬成に取り組み、大切な思い出が刻まれた充実の1日となった。

少林寺拳法

空手道

柔道

柔道入場行進

剣 道

合気道

なぎなた

銃剣道

弓 道

7月16日 合気道

177団体2491名参加

開会式では、高村正彦日本武道館会長と植芝守央合気会理事長が挨拶。挨拶後は基本錬成となり、全員で力一杯、舟漕ぎ運動を行った。続く稽古錬成では、学年ごとに分けられた1部～4部で、参加者は本部道場の指導者の示範を見学してから技の練習に入った。

基本錬成の後は演武錬成となり、各団体は2分という限られた時間の中で演武場を縦横に動き回って、日頃の練習の成果を披露した。

演武錬成が終了すると、総合演武となり、植芝充央本部道場長が登場。流れるような動きで技をかけ、錬成大会が締めくくられた。

ちかいのことば
鈴木彩月・山田恭介
（合気道石芯塾童夢の会）

植芝守央
合気会理事長

高村正彦
日本武道館会長

総合演武（植芝充央合気会本部道場長）

7月17日 弓道

95団体1241名参加

開会式では、臼井日出男日本武道館理事長と中野秀也全日本弓道連盟会長が挨拶を述べた。続いて、岐阜県垂井町立不破中学校の2名による、ちかいのことば（選手宣誓）が行われた。

基本錬成では、選手たちは大道場いっぱいに広がって準備体操を行い、儀部孝教士七段による指揮の下、4名の教士の動きに倣って徒手の射法八節を確認し、正しい射法を錬磨した。特別演武を真剣な眼差しで見学した後、試合錬成に移った。男女とも1チーム3名が各4射、計12射を行い、6中以上が予選を通過し、決勝は的中数により競われた。

ちかいのことば
髙木駿佑
（垂井町立不破中学校）

中野秀也
全日本弓道連盟会長

臼井日出男
日本武道館理事長

ちかいのことば
熊澤未来
（垂井町立不破中学校）

特別演武（左から斉藤美智子教士七段、土佐正明教士八段）

剣道

7月22日・23日 781団体5483名参加

開会式では、22日は臼井日出男日本武道館理事長と福本修二全日本剣道連盟副会長が、23日は川端達夫日本武道館常任理事と福本修二副会長が挨拶。大田区剣道連盟による「木刀による剣道基本技稽古法」の公開演武に続いて、出場選手全員が大道場に広がって準備体操と素振りを行った。

試合は5人制の団体戦で基本判定試合と一本勝負を行い、各試合場ベスト8からは三本勝負で勝敗を決した。

選手たちは、日頃の稽古の成果を発揮しようと力強く竹刀を振り、会場には暑さを吹き飛ばす元気な掛け声が響き渡った。

ちかいのことば（22日）
石田丈巳
（山形県・六稜剣士会）

福本修二
全日本剣道連盟副会長

川端達夫
日本武道館常任理事

ちかいのことば（23日）
小川玉葉
（岡山県・寄島剣道スポーツ少年団）

公開演武「木刀による剣道基本技稽古法」
（東京・大田区剣道連盟）

穴師剣道会
矢部
穴師剣
石川
円心会
松村
養徳館
丸尾
昇龍館

7月29日 空手道

150団体2040名参加

開会式では河村建夫日本武道館常任理事、笹川堯全日本空手道連盟会長が挨拶。模範演武では女子ナショナルチームによる団体形が披露された。

基本錬成は、午前に小学1・2年生の部と小学3・4年生の部、午後に小学5・6年生の部と中学生の部の4部にわたって、基本の突き、蹴りを元気いっぱいに行った。試合錬成は、1チーム3人、4部門の各2ブロックで実施。1・2回戦（形競技）を行った後、各ブロックの上位8チームが決勝トーナメント（組手競技）に進出した。各コートでは、切磋琢磨し、持てる力を出し切る参加者の姿が多く見受けられた。

ちかいのことば
廣瀬心星・寺井梨奈・池田心寛（兵庫県・五誓会東灘）

笹川　堯
全日本空手道連盟会長

河村建夫
日本武道館常任理事

模範演武・ナショナルチーム団体形「五十四歩小」
武儀山舞二段、岡本沙織三段、平紗枝二段、

7月30日 柔道

264団体2857名参加

参加団体の元気の良い入場行進で大会は幕を開き、開会式では、塩谷立日本武道館常任理事と中里壮也全日本柔道連盟専務理事が挨拶を行った。

基本錬成では、廣川充志氏が指揮を取り、模範演武として強化選手4名による技の披露と解説が行われた。続いて基本錬成では、各団体の指導者が元立ちとなり、かかり稽古で参加者は汗を流した。試合錬成になると、低学年の部（3・4年生）と高学年の部（5・6年生）が16試合場に分かれて試合を行い、白熱した試合を展開するチームメイトに一生懸命声援を送る姿や、試合結果に涙する選手の姿が見られた。

ちかいのことば
近藤大和
（静岡県・NPO法人武道学舎）

中里壮也
全日本柔道連盟専務理事

塩谷　立
日本武道館常任理事

模範演武（指揮者＝廣川充志、演武者＝向翔一郎、磯田範仁、新添左季、梅北眞衣）

必勝
克己
力必達
赤夢
龍魂
闘志
気力

8月2日 銃剣道

42団体230名参加

はじめに都道府県ごとに選手が入場行進。拍手に包まれながら大道場を一周して整列した。開会式では臼井日出男日本武道館理事長と酒井健全日本銃剣道連盟会長が挨拶を行った。

開会式後、特別演武「銃剣道基本・応用技」が披露され、その後行われた銃剣道と短剣道の合同錬成では、指揮者に従って基本動作を確認しながら稽古に励み、汗を流した。試合錬成では、銃剣道の個人戦と団体戦、短剣道の個人戦が行われ、各試合場では気迫のこもった試合が展開され、結果に喜んだり涙したりする少年少女たちの姿が随所に見受けられた。

ちかいのことば
松本亜衣奈（滋賀高島市
今津銃剣道スポーツ少年団）

酒井　健
全日本銃剣道連盟会長

特別演武　銃剣道基本・応用技
（西部秋一教士八段・中島克直教士七段）

神奈川県
本間剣友会
神奈川県
鍛錬
本間道場

8月5日 少林寺拳法

208団体1518名参加

今年は「ワクワク～みんないっしょに～」を大会テーマとして開催。鎮魂行から始まり、開会式では高村正彦日本武道館会長と宗由貴少林寺拳法グループ総裁が挨拶を行った後、基本錬成では志村力準範士七段の指揮のもと、全員で突きや蹴りを行った。演武錬成では、段・級、学年別に分かれて単独演武や組演武を行い、練習の成果を競い合った。

演武錬成後は稽古錬成に移った。指揮者が中央で模範を示した後、様々な道院の拳士と組んで全員で技の練習を行い、交流を図った。閉会式で萩原俊次大会名誉会長代理が挨拶、来年夏の再会を約して大会は終了した。

鎮魂行主座
倉田有雀
（熊谷道院拳友会）

宗　由貴
少林寺拳法グループ総裁

模範演武（日本体育大学少林寺拳法部）

ワクワク

8月6日 なぎなた

158団体1184名参加

開会式では、森英介日本武道館常任理事と佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長が挨拶を行った。

基本錬成では、参加者が大道場に広がり、準備体操を行った後、号令に合わせて素振りと体捌(たいさば)きを行った。

続いて競技に移り、演技競技（小・中の4部）では2名1組となり、凛とした姿勢で基本の打ち・受け・捌きを演武した。試合競技（小3～中3の学年ごと）では、防具をまとい、気迫あふれる試合を展開し、錬成大会の最終日を締めくくった。

ちかいのことば
窪田妃那
（福井県・武陵館中嶋道場）

佐藤浩市
全日本なぎなた連盟会長

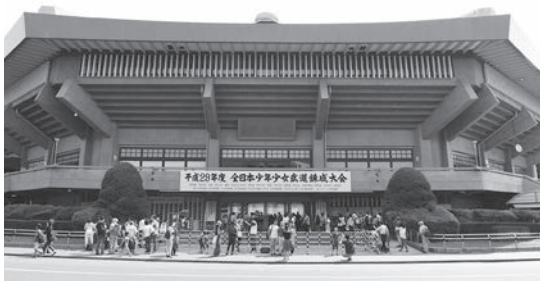
森　英介
日本武道館常任理事

2
13
高根

高山

平成29年度 全日本少年少女武道錬成大会　受賞一覧

平成29年7月16日から8月6日までの9日間にわたって日本武道館で開催された、平成29年度全日本少年少女武道錬成大会の受賞一覧を掲載いたします。



根（東村山合気道クラブ）、山崎くるみ・山崎なつみ（武蔵村山合気道会）、出口寛人・古本杏雫（飛鳥合気道）、神田有娃・横山美紅・宮城悠久（千住合気会）、山田健太・千田実優・成澤ひより・佐藤太郎・秋葉貴斗・椎名匠（杉並合気会）、小林友哉・塩谷巧（世田谷区立緑丘中学校）

【神奈川県】 西田愛樂（合気道自灯館道場）、青木俊之介・中野魁（合気道唯心館杉野道場）、的場兎月・持田悠汰（合気道幸徳会）、竹富椰貴・野本惺乎（AIKI健芯CLUB）、市川温大・宮渕征也（合気道青葉塾道場）、菅まなみ・上田知英・松隈大幸（合気道春水道場）、齋藤崇嘉（桜台合気道クラブ）、天野冴・天野匡・西野珠実・松岡朋尚（春陽会）、尾島伶大（南林間カルチャーセンター）、秋山紗柚・佐藤有馬・須田純理（横浜南合気会）、柏友紀乃・山下遼大（鶴岡八幡宮研修道場合気道）、渡辺光生（城下町合気道（小田原道場））、山本恵多・中園爽太・中園真央（藤沢合気道倶楽部）、只野結寿葵（無門館）、山田寛人・丸川航汰・島田彩羽（合氣道漸進会）、加藤悠・山内葉楠（合気道相模和道会）、松久透和（合気道高城道場合気道わんぱく道場）、浅沼杏樹・藤田浩気（綾瀬市・海老名市合気会）、狩野隼之介・濱口海（寒川合気会）、小野悠馬・中川耀貴（国立印刷局合気道部）、青木莉央・高久陽斗・露木かのり・岩田桃花（秦野武産合気会）、佐久間響己・渡邉剛（合気道相模誠心会田名道場）、外岡真耶（よみうりカルチャー横浜合気道教室）、内藤大智（富士フイルムテクノプロダクツ合気道部）

【新潟県】 木下輝紀（新潟合気会新潟みなと道場）

【山梨県】 河野心夏・清水愛織（浅川教室）

【長野県】 下村彩恵・中原匠望（合気道武石道場）

【静岡県】 濱本侑太郎（裾野合気会）、蜂須賀渚・原竹凛・市川結李加・嶋崎尊・吉岡涼・佐野綸音・高橋悠太・松井皓大・小町優生・林征吾・石田怜那・坂本一護・原一生・松井喜音・森本陽南子・矢野怜・市川綾香・佐野聖奈・脇田錬・石田壮・木原康太・昌山虎太郎・仁科博行（伊豆至誠会）、遠藤柊平・堤健斗・濵野恭輔・鈴木孝彦（合気道石芯塾童夢の会）、菅沼華帆・利根川優心・松井裕弥（啓翔会）

【京都府】 内藤帆風・西村はるか・涌井潤祐（合気道入江道場）

【大阪府】 赤松なごみ・児玉剛・中野春風・山根一真・児玉唯（合気道正勝会）、葛籠蒼介・向井悠人・乃村蒼奈・山本歩・乃村瑞希・山中十奈（合気道泉州武育会）

【奈良県】 上栗錬輝・奥村倫大・照屋海斗・照屋悠斗・刀根修平・桑江亜弥・飛松優希（奈良合気会）、愛甲りり子・菊地星汰・倉見風舞・山田和佳・秋本天花・尾上歩夢・狩野真央・田野景獅・出井春名・西田優花・宮地翌菜・宮地風萌・石田響喜・鹿島佑斗・川原慈・中川愛翔（合気道西大和会）、山田啓太（合気道三錬会）

【和歌山県】 若林慶太・糸田小雪・中筋安紗美（和歌山竹豊館道場）

【岡山県】 桐谷泰輝（倉敷天領塾）、八田小侍朗（倉敷市立西中学校合気道部）

【広島県】 須野海帆・檜垣朋花・景山明・川田真慧・大村亘・水川敬太・上杉陽斗・武内晃斎・中野遼水・波田朋晴・檜垣侑花・和田征士・久留和大・和田侑己・木原弘貴・道行音和・檜垣遥花・上杉修世・須野広海・道行美宙（合気道二葉教室・HIJIYAMA教室）

合気道 ――＜努力賞＞

【青森県】和田唯愛･城戸征樹･田中勇羽･成田柊理（青森道場）
【岩手県】千葉響・遠藤多聞（合気道奥州道場）
【宮城県】及川真人（石巻市総合体育館道場）
【福島県】大野陽生・大原和真・物江蓮（合気道須賀川道場）
【茨城県】倉持真尋（つくば牛久合気道友会）、鵜川愛（江戸崎合気会）、藤原彩矢佳（ヨークカルチャーセンター日立ジュニア合気道）、宮越優衣・小長谷丹人（取手市合気道スポーツ少年団）、谷匠真（つくば合気道会）、上田拳士・薄井眞帆（水戸市合気道スポーツ少年団）、齋藤静香・晒名ゆきの・根尾龍之介・藤井優美香・和久井煌生（ひたちなか市合気道少年団）、大塚拓実・大和田啓斗・岡本真幸・田中虹晴・皆川和也（岩間合気道スポーツ少年団）、佐藤洸（東海合気道少年団）、沼田大治・細貝瑞樹（常陸大宮合気道少年団）、大滝智絢（那珂湊合気道少年団）
【栃木県】小暮主馬･Kalawe 空･小暮美月（小山合気会）
【群馬県】宮城七海・大沢沙野（薫風館）
【埼玉県】藤谷かえで・松井亮龍・森野優大・飯塚美友・飯塚祐太・高橋明理（合気道志優舘）、猪俣湖希・先崎弘治郎・西萌絵・竹本有紗（合気道浦和尾又道場）、小峰有紀子・今瀬蒼葉・田村紗帆（A ＆ P 合気道石垣道場）、坂宥乃・友常麻優・原田ひなの（大成合気道会）、岡田望和･岡田光人･岡本華凜（志陽館）、舘野友由樹・七部琳（蕨合気道会）、鈴木織江・鈴木初夏・永井あゆる（合気道大宮道場）、石川侑人・立石宗佑・立石紗良（浦和合気会）、松本恵実（A ＆ P 合氣道大関道場）、曾我部由名（草加合気道研究会）、水越夕稀（蓮田合気会）、川畑早礼・渋谷來未（合氣道川島町同好会）、加藤大翔（合気道川越道場）、金井楓未弥（日高市合気道同好会）、小澤拓未・立岡結翔・十倉陸・中村遼馬・馬場智一・古市昂・山根裕次郎･茂木眸（合気道研心会）、永田良美･髙橋凜（狭山市合気道教室）、髙﨑由惟・増子青兎（合氣道修練道場自然館）、小澤勘太･矢通優海（合気道和光道場）、福田光之介・河村優太（志木合氣会）、奥村穂波（合氣道神明塾）、岩崎太飛・志村莉恩・長谷川耕太・細山田健人･志村蓮･和田律･小濱浩明･細山田愛花（入間幸武館道場）、武居菜・森馨・脇山琉唯（新所沢合氣道同好会）、多ヶ谷美玖（白岡合気会）、永島大輝・河上紬希･菅恭輔･牧野登和･雨宮聖二（上尾合気会）、堀田桃羽（本庄合気会）､金山鹿之介（合氣道健武館）、菅原仁美（東品川こども合気道）
【千葉県】上條億斗・北田周・篠田龍斗・谷口大和（千葉市立椿森中学校合氣道部）、吉田祥・宮園琉右（合気道花見川道場）、高田凛太郎・西村和花・内田丈博・内田征輝（合氣道弘龍會明心館道場）、平澤直樹（千葉市武道館合氣道スポーツ少年団）、渡邉航生・松田栞（流山合気道同好会）、齋藤陸斗・山中輝生（我孫子市合氣道スポーツ少年団）、小井手優希・長谷川美佳（船橋合気会）、大西花奈・佐藤莉夢・坂谷咲妃・萩原啓登・阪野疾風・松島海峯（朋清会白井道場）、矢幡颯希・坂田純・吉村遥洋（合気道れんしん会）、花岡祐貴（八千代市合気道連盟）､城戸常･竹原百香（柏合気会少年部）、内田伊吹・吉川百花・林田駈琉・池田ちひろ・篭崎圭祐・榊のい・髙山海翔・加賀谷歩実・木村優弥・坂珠希・眞鍋史人・岡田翔真・吉川和志・小向瑛太・笈尾晴太郎・伊藤駿・江幡優・五ノ井健晴・木村真優･小林歩乃佳･小向帝成･妹尾安裕杜･笈尾綸・中谷伸司･林田詩桜･鈴木彩才･藤塚健志･髙山拓海（流山合気会）、吉河佳鈴（富里合気道友会）、渡邉龍之介（銚子合気道会）､植松大翔･戸倉琉花･山崎華那（合氣道松心館）、日色明衣（北総合気会八街道場）、伊藤蒼大・岩部真彩・佐久間ゆめ・藤嵜遥佳・堀越光輝・小澤悠真（袖ケ浦合気会）､市成可尚（合氣道命炎塾）、鈴木友希・平間大雅（合氣道誠氣会）、當間暉竜（高根台カルチャーセンタージュニア合気道）、車田茉未･井出敢大・小林千夏（合氣道明心館スポーツ少年団）、名倉天音・色川維喜・上元悠（じきしん合気道会）、朝倉悠晴（北総合気会山武道場）
【東京都】藤原太郎（中央区合気会）、中原彩葉・堀晃大（合氣道宇宙の会）、加畑智也・田中直斗・服部裕介（武蔵中学校合気道部）、多田円・堀場博雅・石原希・金窓元気・工藤汰朗・逸見有姫（荒川合気会）、井原小次郎･川﨑滉生（合氣道順風会）、猪狩俊介（合気道石田塾）、山下七海（足立合気会）、中川楽人・柳田啓太（葛飾合気会）、加藤愛花・津田心太朗（合氣道土井道場）、内山奈緒・長谷川稜（城東誠和会）、上田匠人（鐘ヶ淵合気道クラブ）、植松七海（新小岩合気会）、飯山遼大・関谷侑香（合氣道木下道場）、中野勇琉・山内一研志・石井斗和・松丸琴子・山本湊一郎（合気道向日葵道場）､今福晨希･沢田実咲樹（合氣道進藤道場）、小倉修平・窪田晃大（東急セミナー BE 雪が谷）、綿井大樹・新堀真綾（東急セミナー BE 青葉台）､後藤千奈（大森三中合気道会）､勝木瞳子（西馬込合気道会）、秋山つぐみ（大田区合気道会）、林幸輝・小林英作（合気道八起会）、田中悠太（渋谷区合氣道同好会）、山口愛里彩・小野大歓・高山愛菜・伊藤更紗・近藤礼佳・近藤ゆあん・高山琴菜・津田麻采椰・伊藤美琴（合気道れいめい会）、片岡見悠・高山穣・立石光・村上雄資（祖師谷合気会）、新優洋・池田睦己･石橋佑都･小池一輝（朋清会）、佐藤楠緒子･木村心咲･竹岡麟太郎（合気道自由が丘道場）､永吉然･金子竜也・村松泰地・奥山凜之介（中野区合気道会）、浅見涼・高野景親（明清会）、菊池壮太・小柳希美・澗岡那光・加藤詩乃・竹内妃咲（板橋区合気道連盟）、和久井千紘（合気道心和会）、島岡珠里・田中良明・平井迦音琉・永島迪・島岡宏図・角森葵一・飯野太雅・上田ちひろ・島新太郎・平井李々菜・松元美樹・小川貴史・柴田大輝・井ノ口月雫・鈴木恵美理・鈴木由莉子・濱野凪（月窓寺道場）、石神隼人・島田寧々・辻凛々・竹下裕果・井上勇輝・大石時久・渡邊創史・須藤蒼太・海雲美凪・高橋未來・布施千智・田辺朋樹・國分標人・小川幸介（合気道新川塾）、近棟和樹・藤田淳之介・風呂光克音・藤田隆之介（仲池合氣道同好会）、海老原颯人・岸伸弥・千葉大雅・吉村虎哲・杉沢さくら・水野日詩（多摩川合気道会）、高木潤・齊藤陸（調布合気道会）、内海陽太（花小金井合気道燦武館）、門田遥・熊代瑛（東村山市合気道会）、津島乙葉・黒坂修喜・津島一花・髙中謙佑（武産合気龍山会）、関岡祐介・雙田悠良（合気道「倫」）、西岡玲奈・福島来夏・三部穂乃果（穎明館中学高等学校合気道部）、高野葉地・高沢莉央（立川市合気道会）、武部一滉（東大和市合気道会）、小峰大河・津田亜莉紗･本田貴士･山西大祐（合気道三澤塾）､馬頭徹貫（鷹の台合氣道同友会）、實生樹（新宿スポーツセンター合気道教室）、アームストロング龍太・飯塚大樹（公益財団法人合気会本部道場少年部）、吉野三士郎・磯忠良（日本武道館武道学園）、佐藤俊武根・佐藤傑武

弓　道　7月17日開催

男子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
大田原市立大田原中学校B（栃木県） 清原中学校B（栃木県）	大田原市立大田原中学校A（栃木県） 松戸市立栗ケ沢中学校A（千葉県）	北犬飼中学校A（栃木県） 慶應義塾中等部A（東京都） 松戸市立栗ケ沢中学校C（千葉県） 小山市立小山城南中学校A（栃木県）	大田原市立大田原中学校B（栃木県） 豊田市立上郷中学校（愛知県）
努力賞	予選通過チーム（12射6中以上）　19チーム		

女子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
皇徳寺中学校A（鹿児島県） 鹿児島市立郡山中学校A（鹿児島県）	慶應義塾中等部A（東京都） 大平中学校A（栃木県）	大田原市立大田原中学校B（栃木県） 松戸市立栗ケ沢中学校（千葉県） 宇都宮市立陽西中学校弓道部A（栃木県） 蒲郡市立中部中学校A（愛知県）	宇都宮市立陽西中学校弓道部A（栃木県） 皇徳寺中学校A（鹿児島県）
努力賞	予選通過チーム（12射6中以上）　12チーム		

剣　道　7月22日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第1ブロック	上の台剣友会（千葉県）	浦安本部道場A（千葉県）	芳明館A（茨城県）	千束剣友会（茨城県）
第2ブロック	豊中小曽根剣友会A（大阪府）	和歌山武道館剣道錬成クラブA（和歌山県）	三島剣道スポーツ少年団A（静岡県）	矢口剣志会A（東京都）
第3ブロック	山梨健心館A（山梨県）	清野育成会剣道クラブA（長野県）	尚道館（静岡県）	たからづか剣道会A（兵庫県）
第4ブロック	剣道緑ノ風A（埼玉県）	仁智館道場A（新潟県）	高神剣道教室（千葉県）	青木島剣道少年団（長野県）
第5ブロック	武蔵館（埼玉県）	浦安本部道場B（千葉県）	柏武道館A（千葉県）	河内剣道クラブA（栃木県）
第6ブロック	大津少年剣道クラブ（熊本県）	四誠館A（埼玉県）	大山青少年剣友会（東京都）	蔵の街剣志会（栃木県）
第7ブロック	東松舘道場A（東京都）	一宮尚武会A（千葉県）	雄邦館（東京都）	大剣会A（静岡県）
第8ブロック	三剱会（大阪府）	川崎御幸剣友会（神奈川県）	大和田剣友会A（千葉県）	輝誠館（大阪府）

7月23日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第1ブロック	龍驤館（熊本県）	群馬境剣道教室A（群馬県）	宝塚円心会スポーツ少年団（兵庫県）	市原尚武館A（千葉県）
第2ブロック	養徳館（岡山県）	共栄館道場A（新潟県）	いばらき少年剣友会B（茨城県）	東秋留剣道会（東京都）
第3ブロック	緑苑剣道少年団A（岐阜県）	横浜戸塚（神奈川県）	凌雲館広徳会道場（富山県）	西尾市立矢田小学校A（愛知県）
第4ブロック	宮原少年剣友会A（和歌山県）	永山剣友会A（東京都）	誠道会北部道場A（静岡県）	桶川剣友会（埼玉県）
第5ブロック	大阪つばさ剣道クラブ（大阪府）	大阪剣武館（大阪府）	乙島剣道スポーツ少年団（岡山県）	紘武館A（栃木県）
第6ブロック	佐貫清心会（千葉県）	誠心剣友会（岐阜県）	沖縄警察署スポーツ少年団（沖縄県）	草加中央剣友会（埼玉県）
第7ブロック	練兵館（栃木県）	萌木剣道教室A（東京都）	鴻ノ池道場（奈良県）	練馬区剣道連盟A（東京都）
第8ブロック	宝塚剣道円心会A（兵庫県）	泉大津剣道協会（大阪府）	森安修道館（福岡県）	徳島少年剣道教室（徳島県）

空手道

7月29日開催

小学１・２年生の部

優秀賞	努力賞
鴻志会養正館 A（静岡県） 空手道一心塾 A（千葉県）	拳正塾 A （東京都） 三田空手クラブ （千葉県） 全日本空手道一友会 B （東京都） 剛柔会相模館 （神奈川県） 清原空手道スポーツクラブ A （栃木県） 蒼鷹会空手道教室 （東京都） 鴻志会養正館 B （静岡県） 福源院道場 （山梨県）
優良賞	
空手道一心塾 B（千葉県） 拳勝館川崎支部 A（神奈川県）	
敢闘賞	
澤木道場（千葉県） 剛柔流空手道錬心会（埼玉県） 日本空手道黎明会 A（神奈川県） 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 B（神奈川県）	

小学３・４年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 B（東京都） 全日本空手道一友会 A（東京都）	清空会 （埼玉県） 剛柔流空手道錬心会 （埼玉県） 鴻志会養正館 A （静岡県） 拳心会荒川 （東京都） 明桜塾 A （千葉県） 拳勝館六会支部 A （神奈川県） NPO 法人野辺地空手道会 A （青森県） 蒼鷹会空手道教室 （東京都）
優良賞	
泊親会正真館 A（静岡県） 拳勝館茅ヶ崎支部 C（神奈川県）	
敢闘賞	
日本空手道泊親会川崎 D（神奈川県） 福源院道場（山梨県） 鴻志会養正館 B（静岡県） 日本空手道泊親会川崎 B（神奈川県）	

小学５・６年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 B（東京都） 全日本空手道一友会 A（東京都）	瑞空塾至誠道場 （静岡県） 鴻志会養正館 B （静岡県） 日本空手道拳勝館 B （神奈川県） 鴻志会養正館 C （静岡県） 拳勝館鎌倉支部 （神奈川県） 拳勝館六会支部 （神奈川県） 鴻志会養正館 A （静岡県） 川口空手アカデミー （埼玉県）
優良賞	
蒼鷹会空手道教室（東京都） 葉山町空手道協会（神奈川県）	
敢闘賞	
剛柔会相模館 A（神奈川県） 紘武会 A（千葉県） 綾瀬松涛館 A（神奈川県） 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 D（神奈川県）	

中学生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道連盟剛柔会誠明館 C（神奈川県） 全日本空手道一友会 B（東京都）	正武館空手道場 A （東京都） 清原空手道スポーツクラブ A （栃木県） 日本空手道道場会川口マリン空手クラブ B （埼玉県） 全日本空手道一友会 A （東京都） 昭空会 A （東京都） 全日本空手道連盟糸東会聖伸館 （千葉県） 正武館空手道場 B （東京都） 鴻志会養正館 A （静岡県）
優良賞	
日本空手道拳勝館 A（神奈川県） 全日本空手道志空会（神奈川県）	
敢闘賞	
剛柔会相模館（神奈川県） 正武館空手道場 C（東京都） 國際松濤館空手道連盟相模原支部（神奈川県） 全日本空手道連盟剛柔会誠明館 B（神奈川県）	

柔　道

7月30日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞
第１ブロック (高学年)	古賀塾（神奈川県）	つくばユナイテッド柔道（茨城県）	下妻優心塾（茨城県） さざれ道場（三重県）
第２ブロック (高学年)	稲沢柔道会（愛知県）	五十嵐道場（埼玉県）	川口市柔道連盟クラブ（埼玉県） 錬心館岡野道場（千葉県）
第３ブロック (高学年)	朝飛道場（神奈川県）	田島道場（群馬県）	鶴来坂田道場（石川県） 松阪市武道館柔道教室（三重県）
第４ブロック (高学年)	松前柔道塾（東京都）	春日柔道クラブ（東京都）	中山柔道会（千葉県） 大和高田市柔道連盟（奈良県）
第５ブロック (低学年)	常総市体育協会石下柔道部（茨城県）	加古川柔祐会（兵庫県）	下館武道館（茨城県） 広畑柔道教室（兵庫県）
第６ブロック (低学年)	犀川柔道教室（石川県）	中山柔道会（千葉県）	八王子学園ジュニア柔道教室（東京都） 川口市柔道連盟クラブ（埼玉県）
第７ブロック (低学年)	宇治柔道会（京都府）	土曜柔道会（兵庫県）	春日柔道クラブ（東京都） 岩井柔道部（茨城県）
第８ブロック (低学年)	朝飛道場（神奈川県）	鶴来坂田道場（石川県）	志翔館道場（京都府） 二見少年柔道クラブ（兵庫県）

銃剣道

8月2日開催

団体試合錬成

学　年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学５・６年生	名寄ピヤシリ銃剣道少年団（北海道）	滋賀高島市今津銃剣道スポーツ少年団A（滋賀）	滋賀高島市今津銃剣道スポーツ少年団C（滋賀）	神奈川県選抜（神奈川）
中学生	名寄ピヤシリ銃剣道少年団（北海道）	滋賀高島市今津銃剣道スポーツ少年団A（滋賀）	九徳塾（滋賀）	元気道場Ａ（新潟）

銃剣道個人試合錬成

学　年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学１・２年生	平松花音（本間道場）	近藤草助（元気道場）	羽野ゆり（船橋武道クラブ）	岩渕将也（旭川銃剣道同好会）
小学３年生	宮田淳生（千歳少年銃剣道クラブ）	金子詠音（元気道場）	新間壬緑（本間道場）	小池健太（元気道場）
小学４年生	細谷妃鶴（七ヶ浜銃剣道少年団）	中山結愛（今津銃剣道少年団）	糸原心温（鳥取県立武道館）	岩舘柚乃（紫波銃剣道クラブ）
小学５年生	芦田和優（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	柴田拓海（九徳塾）	森慶博（瑞穂総合クラブ）	弘田幸輝（九徳塾）
小学６年生	谷誓哉（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	光永瞬希（美幌銃剣道少年団）	井上大志（今津銃剣道少年団）	坂田響（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）
小学5・6年生女子	平松望奈（本間道場）	坂井夢空（今津銃剣道少年団）	山室香璃（今津銃剣道少年団）	猪狩智晴（七ヶ浜銃剣道少年団）
中学１年生	渡辺星雅（七ケ浜銃剣道少年団）	高橋凌平（元気道場）	佐久間蒼太（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	中島光（元気道場）
中学２年生	高田尚（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	飯塚蓮（紫波銃剣道クラブ）	伊東輝羅（練馬銃剣道クラブ）	岸泰生（本間道場）
中学３年生	堀口響（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	潮海斗（旭川銃剣道同好会）	原田涼太（博真館）	北出滉弥（今津銃剣道少年団）
中学生女子	吉見風香（今津銃剣道少年団）	寒河江瑞希（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	植村珠季（本間道場）	松本奈衣瑠（今津銃剣道少年団）

短剣道個人試合錬成

学　年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学１・２年生	岩渕将也（旭川銃剣道同好会）	平松花音（本間道場）	岩舘感太郎（紫波銃剣道クラブ）	吉田怜奈（船橋武道クラブ）
小学３・４年生	中山結愛（今津銃剣道少年団）	村瀬太一（瑞穂総合クラブ）	細谷妃鶴（七ヶ浜銃剣道少年団）	谷武蔵（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）
小学５・６年生	平松望奈（本間道場）	植村将大（本間道場）	井上大志（今津銃剣道少年団）	山室香璃（今津銃剣道少年団）
中学生	須田魁輝（秋田県銃剣道連盟）	中川諒久（須賀川スポーツ少年団）	佐久間蒼太（名寄ピヤシリ銃剣道少年団）	渡辺星雅（七ヶ浜銃剣道少年団）

なぎなた

8月6日開催

演技競技の部

学　年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学１・２年	幾久杏実・鳥井沙帆 (汎愛チューリップクラブ)	大木美依・堀田　希 (弥富市なぎなたクラブ)	遠藤瑚子・鈴木秀岳 (川崎市なぎなた連盟)	佐藤芽以・迫みずき (さくらなぎなたクラブ)
小学３・４年Ａ	大木みらい・上原朱莉 (与那原町なぎなたスポーツ少年団)	小林論都緑・大木千代 (弥富市なぎなたクラブ)	田中未優・塚田紗也 (身延なぎなたスポーツ少年団)	渥美尊仁・髙橋　杏 (浜松中央なぎなたクラブ)
小学３・４年Ｂ	諸戸杏奈・末松奈々 (さくらなぎなたクラブ)	岸野真夕・関　笙乃 (豊島区なぎなた連盟)	奈良柚伽・萱沼日菜 (富士吉田なぎなたクラブ)	角間美織・岸部純奈 (公益財団法人修武館)
小学５・６年Ａ	阿比留月乃・坂上祐輝 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	野間健獅郎・師田清加 (公益財団法人住吉武道館なぎなた教室)	宮平奈沙・宮平沙和 (西原なぎなたクラブ)	宮崎真由香・木原楓子 (大田区なぎなた連盟)
小学５・６年Ｂ	田口菜奈子・堺　歩梨 (大和郡山市なぎなた連盟)	三輪乙乎・日應悠大 (奈良市なぎなた連盟)	綿野紫月・桝井千尋 (奈良市なぎなた連盟)	瀧本　雅・南原小夜乃 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)
小学５・６年Ｃ	村田かなで・城間こころ (友愛クラブ)	栄野川美羽・泉水ほのか (与那原町なぎなたスポーツ少年団)	片山妃那・長谷川希 (愛知クラブ)	下元桜音・平野七葉 (さくらなぎなたクラブ)
中学Ａ	蛯名洸太・髙畑朱里 (一戸町立一戸中学校)	加藤真彩・伊藤菜摘 (弥富市なぎなた連盟)	石井結衣・木村充穂子 (会津なぎなたスポーツ少年団)	佐坂南空・市川莉那 (弥富市なぎなた連盟)
中学Ｂ	甲斐千尋・笹沼静空 (都立富士高等学校附属中学校)	佐藤彌空・太田代歌織 (榴岡なぎなた教室)	原田　萌・鈴木柚香 (東京都立南多摩中等教育学校)	杉本芽依・窪田妃那 (武陵館中嶋道場)
中学Ｃ	栗城奈実・伊藤愛子 (会津なぎなたスポーツ少年団)	小林夏美・小久保藍 (弥富市なぎなた連盟)	武平姫奈・平野穂怜 (富津市なぎなた連盟)	花形明日香・浅川凌太郎 (甲斐市立玉幡中学校なぎなた部)
中学Ｄ	岸野莉子・岸野紗也 (豊島区なぎなた連盟)	物江　葵・永井吉穂 (会津なぎなたスポーツ少年団)	寺地　梛・山本やあ子 (近畿大学附属新宮中学校)	丸山紗央・板倉芙美香 (弥富市なぎなた連盟)
中学Ｅ	藤原羽菜・長谷川柚 (都立富士高等学校附属中学校)	星野柚菜・山近萌恵乃 (神奈川大学附属中学校)	長嶋春優・梅津瞳子 (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)	渡邊さくら・菊地詩織 (会津なぎなたスポーツ少年団)
中学Ｆ	髙田政弥・中村友香 (甲斐市立玉幡中学校なぎなた部)	瀧澤　彩・東山璃音 (一戸町立一戸中学校)	大田原すみれ・白田捺芽 (山形市立第三中学校)	森藤千晴・佐々木汐祥 (琴平中学校)
中学Ｇ	小林加奈・小林加歩 (会津なぎなたスポーツ少年団)	服部帆南・飛渡舞香 (弥富市なぎなた連盟)	山野あかり・川元実来 (大和郡山市立郡山西中学校)	北川　幸・牧野　叶 (福井なぎなたクラブ)
中学Ｈ	中村和か・髙井杏純 (文化学園大学杉並中学校なぎなた部)	渡邉奏海・二瓶陽菜 (会津なぎなたスポーツ少年団)	村田舞音・下條　鈴 (甲斐市立玉幡中学校なぎなた部)	中村日南・船木真琴 (三重武道館クラブ)

試合競技の部

学　年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学３年	大木千代 (弥富市なぎなたクラブ)	柴田華子 (大垣市なぎなた少年団)	諸戸杏奈 (さくらなぎなたクラブ)	菖蒲樹吏愛 (さくらなぎなたクラブ)
小学４年	佐渡ひより (幕張なぎなたスポーツ少年団)	関　笙乃 (豊島区なぎなた連盟)	師田実侑 (公益財団法人住吉武道館なぎなた教室)	長谷川希 (愛知クラブ)
小学５年	寺本春葉 (島根県なぎなた連盟)	山田恵生 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	栄野川美羽 (与那原町なぎなたスポーツ少年団)	渡邊さくら (富士吉田なぎなたクラブ)
小学６年	城間こころ (友愛クラブ)	平安名はな (西原なぎなたクラブ)	藤川由美香 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	田口菜奈子 (大和郡山市なぎなた連盟)
中学１年	鎌田　藍 (琴平中学校)	窪田彩佑 (武陵館中嶋道場)	内田　優 (佐賀県なぎなた連盟)	安部桃夏 (公益財団法人修武館)
中学２年	片山眞那 (愛知県なぎなた連盟豊川支部)	東山璃音 (一戸町立一戸中学校)	長嶋姫那 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	堀田　響 (弥富市なぎなた連盟)
中学３年	窪田妃那 (武陵館中嶋道場)	小久保藍 (弥富市なぎなた連盟)	安藤鈴華 (養徳館)	伊藤愛子 (会津なぎなたスポーツ少年団)
小学男子３・４年	大城立汰 (与那原町なぎなたスポーツ少年団)	三枝健真 (藤井寺市剣道薙刀協会)	古川陽斗 (習志野市なぎなた連盟東部教室)	後藤彩斗 (宇都宮市なぎなた連盟)
小学男子５・６年	長嶋春優 (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)	坂上祐輝 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	高山清玄 (中野区なぎなた連盟)	小田正浩 (鹿児島なぎなた同好会)
中学男子	古市空将 (弥富市なぎなた連盟)	寒川慎也 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)	南舘日奈太 (一戸町立一戸中学校)	蛯名洸太 (一戸町立一戸中学校)

久保田羽菜（東京都･早稲田実業少林寺拳法部）鹿山友希･長谷川遥歩（東京都･立川第七中学校少林寺拳法部）矢澤太希･石川直生、大久保瑠菜･古川茜、柏瀬航大･芹澤光（東京都･町田市立小山中学校少林寺拳法部）野崎祐生･齋藤巧弥（愛知県･名古屋伏屋道院拳友会）箕輪匡･箕輪秀人（奈良県・大和桜井道院拳友会）

◆小学生有段の部

小沼佳生・齋藤楓（福島県・白河東スポーツ少年団）新谷鳳司・山田一翔（茨城県・茨城つくば道院拳友会）村越風善・宮島遥斗（東京都・埼玉神屋道院拳友会）安武大喜・鳥谷部心（埼玉県・武蔵浦和道院拳友会）新井一矢・秋本翼（埼玉県・埼玉三ケ島道院拳友会）吉野栞・小林渚紗（千葉県･千葉清見台道院拳友会）南緑仁･小保田佳佑（神奈川県･川崎柿生道院拳友会）神田咲哉･綾邊晃基（神奈川県･川崎柿生道院拳友会）森彪雅・森瑠馬（神奈川県・秦野道院拳友会）有賀悠人・加藤嵐天（長野県・佐久市南スポーツ少年団）疋田修大・馬場友博（静岡県・浜名新居道院拳友会）森下桃帆・山内涼生（愛知県・愛知東浦道院拳友会）服部瑠起・川合琉也（愛知県・名古屋太子道院拳友会）大野晃太郎・畑垣紫（和歌山県・南部スポーツ少年団）野上賢信・福島樹（岡山県・備中高松スポーツ少年団）

≪単独基本演武≫

◆小学生３級～１級の部

松本悠希（岩手県･滝沢スポーツ少年団）佐々木徳空（秋田県･秋田雄物川スポーツ少年団）小沼陸斗（茨城県･水戸スポーツ少年団）秋山浩克（茨城県･波崎スポーツ少年団）藤﨑遊庵（茨城県･茨城神栖スポーツ少年団）丹内愛翔（群馬県･群馬多々良道院拳友会）亀井陽向（群馬県･群馬多々良道院拳友会）石飛樹（群馬県･上州白根道院拳友会）大角忠靖（群馬県･前橋橘道院拳友会）三上桜愛（埼玉県･入間藤沢道院拳友会）竹村心（埼玉県・埼玉深谷道院拳友会）吉田リアム慧（埼玉県・志木スポーツ少年団）小菅陽太（千葉県・流山北道院拳友会）岡野正汰（千葉県・市川若宮道院拳友会）岡村紅音（千葉県・習志野台スポーツ少年団）岡村昌信（千葉県・習志野台スポーツ少年団）杉原陸（千葉県・市原千種スポーツ少年団）稲毛風斗（東京都・久米川道院拳友会）片山日向子（埼玉県・日本武道館武道学園少林寺拳法部）須藤さくら（神奈川県・海老名東道院拳友会）米田日菜多（神奈川県・川崎東道院拳友会）小嶋大河（長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ）長屋凌（愛知県・愛岐錬成館道院拳友会）即武映杜（愛知県・愛知今伊勢道院拳友会）中村湧（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）松本幸大（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）井原明日叶（兵庫県・尼崎北道院拳友会）坂元颯晟（和歌山県・かつらぎ東スポーツ少年団）大川菜々未（和歌山県・南部スポーツ少年団）中井達貴（和歌山県・南部スポーツ少年団）山下陽生（和歌山県・南部スポーツ少年団）藤井颯人（徳島県・徳島北島スポーツ少年団）藤田拓也（徳島県・徳島北島スポーツ少年団）香川萌華（香川県・丸亀京極道院拳友会）樋口陽土（鹿児島県・鹿児島西陵スポーツ少年団）榎木龍朗（宮崎県・都城いずみ道院拳友会）

◆小学生４級の部

高柳快唯（福島県・福島双葉道院拳友会）池田大翔（埼玉県・埼玉深谷道院拳友会）井出煌力（埼玉県・川口道院拳友会）大竹優青（千葉県・東京辰巳道院拳友会）茅原希介（東京都・東京石神井道院拳友会）蒔田大地（神奈川県・横浜清水ケ丘道院拳友会）癸生川麗乃（神奈川県・伊勢原道院拳友会）香山莞爾（神奈川県・相模大野道院拳友会）春日沙羅（長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ）太田歩武（愛知県・愛岐錬成館道院拳友会）古橋冬彩（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）田中晴人（愛知県・愛知米野木道院拳友会）向井蓮（香川県・本部道院拳友会）伊藤龍河（熊本県・繊月道院）多田伊倍波（宮崎県・都城いずみ道院拳友会）川﨑陽莉（宮崎県・高崎スポーツ少年団）枝廣野々香（岡山県・備中高松スポーツ少年団）

◆小学生６級～５級の部

八重樫優太（岩手県･滝沢スポーツ少年団）常松琉斗（福島県･須賀川スポーツ少年団）根本健太郎（茨城県･茨城三和スポーツ少年団）山本遥音、萩原優人（茨城県・波崎スポーツ少年団）吉成恭奨（茨城県・ひたちなか市松戸スポーツ少年団）荒井二葉、青野心優（茨城県・茨城神栖スポーツ少年団）柳田悠希、長野麗羅（群馬県・群馬多々良道院拳友会）冨澤聖生（群馬県・上州白根道院拳友会）五十嵐美優（群馬県・前橋橘道院拳友会）長澤佑弥（埼玉県・埼玉鶴瀬道院拳友会）吉野孝規（埼玉県・川口道院拳友会）小菅耕太（千葉県・流山北道院拳友会）原嶋拓実（千葉県・我孫子道院拳友会）鈴木野乃果、鈴木双葉（千葉県・習志野台スポーツ少年団）大下藍（埼玉県・成増北道院拳友会）佐藤桜輔（埼玉県・東京大泉西道院拳友会）内田桂稟（東京都・東京野方道院拳友会）山崎佑輔（東京都・東京東小岩道院拳友会）原郷良太郎（埼玉県・東京錦糸道院拳友会）則安香怜（埼玉県・武蔵国分寺スポーツ少年団）原島悠豪、蟹江玲応（東京都・東京東陽町道院拳友会）ケンアマラルナ（東京都・国立中スポーツ少年団）山村楓牙（東京都・加住小中学校少林寺拳法部）尾沢勘司（東京都・東京桜台道院拳友会）荒木まこ（神奈川県・神奈川大和道院拳友会）コピトスキー怜奈河上、岡部満月（長野県・長野更埴道院拳友会）伊堀紗江（長野県・長野南スポーツ少年団）和田ゆりあ、竹山桜子（愛知県・愛岐錬成館道院拳友会）田中愛（愛知県・熱田道院拳友会）堀口虎之介、宮本音哉（和歌山県・南部スポーツ少年団）尾藤すがの（和歌山県・和歌山西庄スポーツ少年団）森脇汰一（香川県・本部道院拳友会）

◆小学生見習い～７級の部

小河原めい（秋田県・秋田湯沢スポーツ少年団）原田留乃心（宮城県・仙台宮城野道院拳友会）内海玲真（宮城県・青葉道院拳友会）日置実来、渡邊龍俄、高柳伶唯（福島県・福島双葉道院拳友会）小沼颯汰、根本大雅（茨城県・水戸スポーツ少年団）秋山浩汰、林茉依、飯田葵（茨城県・波崎スポーツ少年団）新村泰人（茨城県・茨城阿見道院拳友会）高澤堅知（栃木県・栃木瑞穂道院拳友会）若林柑奈（群馬県・群馬多々良道院拳友会）水出拓実、都所育矢（群馬県・上州白根道院拳友会）吉田圭祐（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）佐藤優心（埼玉県・入間藤沢道院拳友会）橋上征吾（埼玉県・埼玉深谷道院拳友会）野中槙人（埼玉県・武蔵嵐山スポーツ少年団）澁谷瑞貴（埼玉県・埼玉中部道院拳友会）角田優佳、林睦人、林洸太（千葉県・千葉海匝道院拳友会）宮崎歩美（千葉県・千葉おゆみ野スポーツ少年団）徳永佳奈（千葉県・千葉山王道院拳友会）新里廉明（千葉県・西船橋道院拳友会）沢田玲雄（埼玉県・東京王子道院拳友会）近藤草介、竹内望々（埼玉県・武蔵国分寺スポーツ少年団）中山瑛心、中山煌晟（東京都・久米川道院拳友会）荒井天斗虎、上笹貫雄介（東京都・東京試衛舘道院拳友会）小泉泰輝（東京都・多摩桜ヶ丘道院拳友会）末岡慶士（東京都・東京石神井道院拳友会）左納くるみ、野田絢平（東京都・東京上北沢道院拳友会）河内颯介（東京都・東京東陽町道院拳友会）日高拓真、須藤啓（神奈川県･海老名東道院拳友会）高橋珠吏（新潟県･村上朝日スポーツ少年団）西山佳穂美（新潟県･新潟亀田道院拳友会）山崎零弥、田中咲絢（長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ）伊豫田旺佑（愛知県・岡崎こだるま道院拳友会）北琥白（愛知県･名古屋伏屋道院拳友会）新納健心（愛知県･名古屋太子道院拳友会）武藤健太（愛知県･愛知今伊勢道院拳友会）中村悠希（京都府･伏見丹波橋スポーツ少年団）安田伊志（京都府・宇治市役所少林寺拳法部）水谷暁（奈良県・大和桜井道院拳友会）寺谷洋祐（和歌山県・南部スポーツ少年団）川崎宥武、園田大和、園田結菜（岡山県・長船スポーツ少年団）

≪団体の部≫

◆中学生の部

吉原早恵・佐々木一華・河原真未・菅﨑香澄・齋藤玲・石神満理奈（茨城県・清真学園少林寺拳法部）鈴木花香・三塚百々花・内山円璃・田北琴子・熊谷梨花・佐藤水芳（東京都・富士見丘学園少林寺拳法部）中村真優華・野村天音・古海佳蓮・上原いずみ・中馬彩香・永作日菜・佐野幸・番場ことみ（東京都・加住小中学校少林寺拳法部）藤﨑愛海・石原桃・佐藤成恵・森田桜菜・釘元愛依・江口詩歩・清水咲羅・廣田夏凜（東京都・町田市立小山中学校少林寺拳法部）加藤大雅・谷口瑠清・伊原稜亮・古田敦士・岡本秋実・市古空（愛知県・豊明西川スポーツ少年団）渡部結月・西東梓・早川航拓・江藤心美・加藤達暉・丸井稜太朗（愛知県・愛知今伊勢道院拳友会）岡田瞭・田澤昌玖・津岡春・若城大輝・高橋羽流生・宮下紅音・井上摩乙・辻川祐太朗（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）大山葵・庄司有沙・平野萌・小田愛里・泰地音羽・坂本夏美（和歌山県・南部スポーツ少年団）

◆小学生の部

高澤堅知・西山耕友・吉沢翔太・矢口健太郎・高澤弥結・高嶋大輝（栃木県・栃木瑞穂道院拳友会）石川惺己・柳田悠希・斉藤琉叶・亀井陽向・藤村琴音・丹内愛翔（群馬県・群馬多々良道院拳友会）坂本開基・亀井陽生・横山瑠泉・坂本暁基・久保輝果・篠崎テツヤ（群馬県・渡良瀬道院拳友会）岩田悠之介・清水亮佑・萩原千尋・大角忠靖・宮下隼・岩田朋太朗・山宮悠暉・五十嵐優翔（群馬県・前橋橘道院拳友会）須貝悠矢・島田祥太朗・佐藤咲慧・藤井葉衣樹・粕川知希・内山穂乃佳・石岡愛将・角田大知（群馬県・群馬北毛道院拳友会）齋藤陽夏琉・今井大智・安達みず希・安武大喜・若杉拓実・鳥谷部心（埼玉県・武蔵浦和道院拳友会）山口聡太・笠原颯泰・太田柚乃・小林大晟・田辺巧・小島温大（埼玉県・東松山スポーツ少年団）高橋蒼太朗・松浦直輝・藤田芯・安藤春希・佐光臣仁・竹田昂太（千葉県・我孫子道院拳友会）古田廉之介・浜島芽華・宮澤司・田澤樹・城田健太朗・杉山輝明・近藤夏凪・澤田凌輔（愛知県・豊明東道院拳友会）上馬場慎也・矢野愛理・三原璃久・近藤亮斗・古川遥己・古川鈴菜・加藤彩芭・伊藤煌生（愛知県・豊明東道院拳友会）古橋冬彩・船橋一矢・齋藤旭・齋藤巧弥・藤村洸希・佐々木小春（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）松元那花・松元夏和・橋本彩乃・今村水音・松元岳琉・安田伊志（京都府・宇治市役所少林寺拳法部）大川綾斗・寺谷洋祐・室井良太・山下陽生・片岡千佳・小川正悟・中井亮輔・中井達貴（和歌山県・南部スポーツ少年団）坂本結彩・大野晃太郎・中内洋希・大江里佳・堀口叶愛・畑垣紫・大川菜々未・尾原玲菜（和歌山県・南部スポーツ少年団）朝倉仁・小玉智穂・伊藤雅輝誉・有吉彩絵・吉永隼翔・田中雫・多田虎之介・松原琢磨（宮崎県・都城いずみ道院拳友会）

少林寺拳法 ―<優秀賞>― 8月5日開催

≪規定組演武≫

◆小学生１級

飯塚葵・飯塚日向（群馬県・群馬富岡道院拳友会）岡田武士・倉田有雀（埼玉県・熊谷道院拳友会）山田樹里・高野桜花（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）田辺巧・笠原颯泰（埼玉県・東松山スポーツ少年団）押本仁・川崎創太（東京都・東京田無道院拳友会）樋口龍健・城所丈（神奈川県・伊勢原道院拳友会）中村洸士・河野友希（神奈川県・神奈川嶽之内道院拳友会）

◆小学生２級

安村素乃子・中村堇（岩手県・滝沢スポーツ少年団）千葉真綾・戸塚大耀、宍戸千夏・小原和夏、樋口誠一郎・川渕孝典（宮城県・青葉道院拳友会）橋本茉奈・内田多賀矢（茨城県・鹿島港南スポーツ少年団）小林大晟・太田柚乃（埼玉県・東松山スポーツ少年団）大澤駿・山﨑大悟（埼玉県・埼玉鶴瀬道院拳友会）安藤春希・高橋蒼太朗（千葉県・我孫子道院拳友会）山崎聡大・岡田蒼樹（千葉県・千葉清見台道院拳友会）小林昌輝・小瀬村凜（神奈川県・神奈川大和道院拳友会）今井聖人・古賀陽樹（神奈川県・小田原道院拳友会）天海晴稀・今津未来（神奈川県・横須賀衣笠道院拳友会）諸橋寧々・花畑星那（神奈川県・横浜清水ケ丘道院拳友会）西塚百花・服部瑠璃（愛知県・名古屋太子道院拳友会）新田悠輔・鈴木湊（愛知県・名古屋植田道院拳友会）小川正悟・中内洋希、坂本結彩・堀口叶愛（和歌山県・南部スポーツ少年団）

◆小学生３級

高橋信乃・三浦輝（宮城県・多賀城城南道院拳友会）高山日奈太・山内悠楽、小野悠河・山内隆楽（宮城県・青葉道院拳友会）三浦博翔・斎藤滉大（福島県・須賀川スポーツ少年団）南齋温克・小島巧（茨城県・茨城つくば道院拳友会）粕川知希・須貝悠矢、佐藤咲慧・内山穂乃佳（群馬県・群馬北毛道院拳友会）半田葉琉・小澤康之介（埼玉県・朝霞道院拳友会）長峯魁児・中村優希（埼玉県・埼玉藤久保道院拳友会）安藤璃衣那・川崎健（千葉県・千葉袖ケ浦道院拳友会）石川皓大・大橋光（千葉県・東京大崎道院拳友会）橋本盛太郎・猪股大地（東京都・八王子西道院拳友会）竹久保皓也・柿崎亜門（神奈川県・湘南中井スポーツ少年団）船橋一矢・齋藤旭（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）安田桜晴・田中琉星（愛知県・知多東浦スポーツ少年団）

◆小学生４級

佐々木琉汰・瀧澤駿哉（秋田県・秋田湯沢スポーツ少年団）山内優奈・宇佐美豪琉（宮城県・青葉道院拳友会）飯田堅斗・岩谷奏（福島県・白河東スポーツ少年団）桃井陽正・関口陽介（茨城県・茨城三和スポーツ少年団）島杏菜・新野邊己央（茨城県・鹿島港南スポーツ少年団）沼尻宗大・檜山湧慶（茨城県・ひたちなか市湊スポーツ少年団）吉沢翔太・高澤弥結（栃木県・栃木瑞穂道院拳友会）岩田悠之介・宮下隼（群馬県・前橋橘道院拳友会）小暮菜穂・小暮希穂（埼玉県・埼玉北鴻巣道院拳友会）齋藤陽夏琉・安達みず希（埼玉県・武蔵浦和道院拳友会）進藤龍一・清水美佑（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）小澤夏希・畠山漣大郎（埼玉県・朝霞道院拳友会）荒浪拓翔・野口心乃助（千葉県・我孫子道院拳友会）岡野優樹・曽根由樹（千葉県・市川若宮道院拳友会）津根佑哉・時谷拓夢（千葉県・市原南スポーツ少年団）川村允悠・川村鷹之将（千葉県・東京辰巳道院拳友会）鳥越希羽・池田來々南、八谷花怜・濱口純（東京都・八王子陵北スポーツ少年団）小川雪乃・小森千裕（東京都・八王子松枝道院拳友会）梶川純史・服部令汰郎（東京都・練馬道院拳友会）藤原祥真・中池哲志（東京都・東京東陽町道院拳友会）海沼孟宗・宮田昊尚（東京都・東京西品川道院拳友会）吉田創達・林杏（神奈川県・川崎柿生道院拳友会）藤田善大・菅谷昊汰（神奈川県・相模林間道院拳友会）佐々木小春・藤村洸希（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）水谷明寿香・島田羽亜（奈良県・大和桜井道院拳友会）箕輪亨・島田桂寿（奈良県・大和桜井道院拳友会）明杉匠将・青野晃大（奈良県・王寺道院拳友会）大川綾斗・片岡千佳、室井良太・中井亮輔（和歌山県・南部スポーツ少年団）

◆小学生５級

宮野心・宮野涼（岩手県・盛南スポーツ少年団）伊藤大悟・伊藤帆七海（茨城県・浦安スポーツ少年団）鈴木聖悟・藤波祥真（東京都・埼玉神屋道院拳友会）齊藤匠・高野聡大、石井そら・田中南帆（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）髙橋大我・中山閏之祐（埼玉県・東松山スポーツ少年団）秋谷実紀・小川理央、後藤幸音・河野楓香（埼玉県・埼玉川島道院拳友会）大野木健晋・嶋村皇大（埼玉県・志木スポーツ少年団）山口瀬里菜・佐藤幸太朗（埼玉県・朝霞道院拳友会）井達優吾・河原壮汰（千葉県・流山北道院拳友会）宮崎龍大・池田航太（千葉県・西船橋道院拳友会）佐藤蒼の・池貝洸輝（千葉県・市原東道院拳友会）川崎雪乃・四方勇輝（東京都・東京田無道院拳友会）宮本寿幸・三木大地（東京都・東京足立東和道院拳友会）小澤美裕・満田灯里（東京都・加住小中学校少林寺拳法部）山口七穂・菊地和花、内田圭祐・内田桜、能勢陽帆・浮渡寿美玲（神奈川県・下溝スポーツ少年団）中村夕夏・幸村はる菜（神奈川県・海老名東道院拳友会）黒澤勘太・山口凛太郎、久保りんか・荘司星華（神奈川県・湘南中井スポーツ少年団）新納颯真・牧村湧月、平山航也・森島日向（愛知県・名古屋太子道院拳友会）葛西泰馳・堀井なおこ、政田脩佑・南部亜怜、加藤仁清・鹿島田優真（愛知県・名古屋植田道院拳友会）武藤真名香・渡部日爽（愛知県・愛知今伊勢道院拳友会）今村水音・松元夏和（京都府・宇治市役所少林寺拳法部）東浦ひなた・岡田奈和美（奈良県・奈良宝来道院拳友会）橋本隆清・寺澤海伊里、前田稜太・濵口翔太（和歌山県・和歌山西庄スポーツ少年団）

◆小学生６級

千葉紗也・守谷夏音（宮城県・青葉道院拳友会）芳賀諒斗・舟木蒼（福島県・福島鮫川道院拳友会）石井智・近藤凛玖（福島県・白河東スポーツ少年団）安田祥梧・山田悠翔（茨城県・水戸スポーツ少年団）西山耕友・矢口健太郎（栃木県・栃木瑞穂道院拳友会）河邉良洵・河邉良宥（埼玉県・熊谷道院拳友会）中原迅・岡本敬太郎、吉村颯紗・佐藤光咲（埼玉県・朝霞道院拳友会）飯野龍海・野中涼帆（埼玉県・武蔵嵐山スポーツ少年団）松浦篤志・田中大貴、渡部瑛斗・伊東照真（千葉県・我孫子道院拳友会）横川歩海・大木琢己（千葉県・野田川間道院拳友会）駒場大維知・後山莉駒（千葉県・市原千種スポーツ少年団）若松宗亮・長内康樹（東京都・東京田無道院拳友会）吉田恵咲・平田月太郎、森下遥・森乙葉（東京都・東京石神井道院拳友会）奥住琉哉・林田智起（東京都・武蔵村山道院拳友会）大岡睦季・大石藍太郎（東京都・大田大森スポーツ少年団）石川雄大・石川翔大（千葉県・東京大崎道院拳友会）兼光由・望月陽斗（東京都・国立中スポーツ少年団）林由・大室快（神奈川県・川崎柿生道院拳友会）二見昂・井上慧豪（神奈川県・神奈川大和道院拳友会）箕浦弘人・原田明歩（神奈川県・下溝スポーツ少年団）三留勇斗・小島明日香、杉崎桜月・杉本梓紗（神奈川県・伊勢原道院拳友会）藤田暁大・元木晃平（神奈川県・相模林間道院拳友会）大場正都・髙橋健（神奈川県・慶応義塾）春日レイ・春日伊吹（長野県・信州宮田生涯教育スポーツクラブ）鬼頭快空・佐藤竜信（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）川合美緒・八田知咲（愛知県・名古屋太子道院拳友会）大村航太郎・大澤伊織（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）前田友那・前田琉人、首藤颯人・近藤龍祐（奈良県・大和桜井西道院拳友会）川崎優輝斗・加茂佑梗（徳島県・鍛冶屋原道院拳友会）

◆小学生見習い～７級

中川西悠・高木瑛飛、野崎結生・鈴木快雅（福島県・福島鮫川道院拳友会）岩田大輝・大石瞭惺（茨城県・牛久市ひたち野スポーツ少年団）坂本開基・横山瑠泉（群馬県・渡良瀬道院拳友会）森海成・安藤成央（埼玉県・埼玉北鴻巣道院拳友会）小城悠真・田中柊吾（埼玉県・埼玉神川スポーツ少年団）高木律也・花園康太朗、松澤弘翔・藤原亜季郁（埼玉県・草加道院拳友会）中村陽希・大内惺士（埼玉県・埼玉藤久保道院拳友会）早山乃永・小板橋大翔（千葉県・船橋宮本道院拳友会）鈴木陽琉・濱和成（埼玉県・東京錦糸道院拳友会）牛山響・小泉楓（東京都・多摩桜ヶ丘道院拳友会）上甲太一・牛久保莉花（東京都・八王子松枝道院拳友会）若林拓哉・大窪陽人（東京都・光が丘スポーツ少年団）岡屋和佳奈・浜中圭太（東京都・板橋加賀スポーツ少年団）牧野瑠依・三木海里（東京都・東京足立東和道院拳友会）谷津早・任馨（東京都・加住小中学校少林寺拳法部）村木玲・吉田小純（神奈川県・神奈川大和道院拳友会）加藤悠仁・藤原諒太朗（神奈川県・秦野丹沢スポーツ少年団）瀬川正大郎・瀬川祐里奈（愛知県・岡崎こだるま道院拳友会）古橋彗・藤村誠士（愛知県・名古屋伏屋道院拳友会）新郷日奈子・吉水ありさ（愛知県・名古屋太子道院拳友会）松元那花・橋本彩乃（京都府・宇治市役所少林寺拳法部）

≪自由組演武≫

◆中学生有段の部

松本昂士・長谷川千成（岩手県・盛岡北道院拳友会）尾崎太一・中泉蓮（茨城県・牛久市ひたち野スポーツ少年団）島田倫太朗・内山翔太、小田切紗羅・藤井葉衣樹（群馬県・群馬北毛道院拳友会）片田美琴・宮永颯太（埼玉県・朝霞道院拳友会）徳永文奈・霜鳥若菜（千葉県・千葉山王道院拳友会）横瀬龍汰・豊武亮（千葉県・千葉袖ケ浦道院拳友会）和田輝・筒井大翔、粕谷翠波・川上桜子、山下愛・中島玲佳（東京都・早稲田実業少林寺拳法部）番場ことみ・中馬彩香（東京都・加住小中学校少林寺拳法部）小川莉央・稲葉行志（神奈川県・相模原新宿スポーツ少年団）荘司幸星・重田颯汰（神奈川県・湘南中井スポーツ少年団）田中豪・堀田陽生（愛知県・熱田道院拳友会）中田暮翼・古村光輝（愛知県・名古屋太子道院拳友会）牧村昌都・石田俊裕、堀井よしの・松永梨里（愛知県・名古屋植田道院拳友会）江藤心美・西東梓（愛知県・愛知今伊勢道院拳友会）高橋羽流生・宮下紅音、井上摩乙・辻川祐太朗、岡田瞭・田澤昌玖（京都府・伏見丹波橋スポーツ少年団）小田愛里・坂本夏美、大山葵・平野萌（和歌山県・南部スポーツ少年団）

◆中学生段外の部

河原真未・成島彩華、吉原早恵・齋藤玲、石神満理奈・佐々木一華、加茂みおり・笹本千晶（茨城県・清真学園少林寺拳法部）藤原沙玖弥・谷口愛実（埼玉県・草加道院拳友会）飯島蓮・井達優惺（千葉県・流山北道院拳友会）熊谷梨花・田北琴子（東京都・富士見丘学園少林寺拳法部）池田弥来・

好評発売中

伝えたい日本のこころ

絵と文　中村　麻美（なかむらまみ）

F4判・上製・98頁・定価（本体2700円＋税）

中村麻美（なかむら・まみ）画家・挿画家。三重県津市生まれ。県立津西高校、津田塾大学卒。大学在学中、日本画教室（田中峰雪氏に師事）にて作画の基礎を学ぶ。英語個人教授業、第十八代ミス日本グランプリ、NHK BSニュースキャスター、絵本翻訳業を経て、絵画を志す。大和草、茶花などを題材とした日本画の本画を制作し、書籍、雑誌、新聞、テレビ番組などで歴史もの、武人画、創業者などの挿画を手がける。また、原作新聞小説挿画を描いたNHK大河ドラマ『天地人』放映の平成十九年以降は、歴史上の人物の本画作品制作にも新境地を開いている。代表作に〝天地人丸紋絵巻〟（兼続お船ミュージアム所蔵）、「斎王」（三重県立斎宮歴史博物館所蔵）など。

月刊「武道」の美しいカラー表紙絵の中から45点を精選。岩絵具で描いた日本画と解説文で「日本のこころ」をお届けします。

「ひとに愛されたい、必要とされたい、社会をよくするため役立ちたい。よき人間でありたい、そしてみんなが幸せであってほしい」――こうした万国共通の願い、祈りを育て、磨くためにも、確かな手がかりとなるすばらしい逸話ばかりです。（本書「あとがき」より）

目　次

一　かしこい小僧さん
二　ひよどり越え
三　天の石屋戸
四　巌流島の決闘
五　太田道灌と少女の歌
六　三本の矢の教え
七　山中鹿介―我に七難八苦を与えたまえ
八　良寛さまと筍
九　民を慈しむ仁徳天皇
十　中江藤樹―母への薬
十一　夫の危機を救う弟橘媛
十二　良子斎王―別れの御櫛
十三　桜井駅の別れ
十四　八俣の大蛇
十五　川中島の戦い―謙信と信玄
十六　紅梅内侍と鶯の宿
十七　新羅三郎義光―笙の秘曲を授ける
十八　小松姫―夫の居城を守りぬく
十九　青の洞門
二十　鍋島直茂と接ぎ木
二十一　小林虎三郎―米百俵の精神
二十二　島津義弘―関ヶ原敵中突破
二十三　光明皇后―千人のからだを洗う
二十四　城戸俊三―勝利を捨てて愛馬を救う
二十五　松坂の一夜
二十六　柳に飛びつく蛙
二十七　称名寺『青葉の楓』
二十八　神武天皇ご東征
二十九　本多忠朝とサンフランシスコ号
三十　つるべの朝顔
三十一　野中兼山―海に捨てたはまぐり
三十二　鉢の木
三十三　因幡の白うさぎ
三十四　堪忍のわび証文
三十五　橘曙覧『独楽吟』
三十六　南総里見八犬伝
三十七　吉田松陰の志
三十八　鳥居強右衛門の勇気
三十九　明智光春―誉れの湖水渡り
四十　赤穂義士の討ち入り
四十一　頼朝を助けた梶原景時
四十二　真田幸村―大坂の陣
四十三　天照大御神と美し国・伊勢
四十四　和田勇―祖国にオリンピックを招致
四十五　長岡花火『白菊』
あとがき

編集・発行　公益財団法人日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp
お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法・なぎなた・銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

日本の武道

好評発売中!

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）

≪目次≫

序章
刊行の辞 … 塩川正十郎 日本武道館・日本武道協議会会長
刊行にあたって … 松永 光 日本武道館理事長
武道のすすめ … 養老孟司 東京大学名誉教授
武道憲章（「武道憲章」「武道憲章英訳文」「こども武道憲章」）
カラー口絵（日本武道館、9武道＋日武協30年のあゆみ）

第1章 日本の武道
第1節 日本の武道 …… 杉江正敏 大阪大学教授
第2節 武士道から武道へ … 菅野覚明 東京大学大学院教授
第3節 武道の近代化・嘉納治五郎師範の教え …
村田直樹 講道館図書資料部長
第4節 武道の魅力 …… 大保木輝雄 埼玉大学教授
第5節 学校武道の歴史 … 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道の教育力 …… 菅野 純 早稲田大学教授
第7節 日本武道館 …… （財）日本武道館

第2章 日本の古武道
第1節 日本の古武道
第2節 古武道の技と心 … 横瀬知行 古流武術研究家

第3章 現代の武道
第1節 柔 道 …… （財）全日本柔道連盟
第2節 剣 道 …… （財）全日本剣道連盟
第3節 弓 道 …… （財）全日本弓道連盟
第4節 相 撲 …… （財）日本相撲連盟
第5節 空手道 …… （財）全日本空手道連盟
第6節 合気道 …… （財）合 気 会
第7節 少林寺拳法 …… （財）少林寺拳法連盟
第8節 なぎなた …… （財）全日本なぎなた連盟
第9節 銃剣道 …… （社）全日本銃剣道連盟

第4章 組織・研究機関
第1節 日本武道協議会
第2節 全国都道府県立武道館協議会
第3節 日本武道学会
第4節 日本古武道協会
第5節 武道学科等設置大学 ①国際武道大学 ②国士舘大学 ③東海大学 ④日本体育大学 ⑤鹿屋体育大学 ⑥中京大学 ⑦天理大学 ⑧筑波大学

第5章 資料編
第1節 役員名簿・組織図
第2節 日本武道協議会武道功労者一覧
第3節 全日本選手権大会優勝者一覧
第4節 年表「武道・近代百四十年の歩み」中村民雄 福島大学教授
第5節 学校体育における武道の変遷 本村清人 東京女子体育大学教授
第6節 武道主要参考図書

（現職・法人名は刊行時）

編集・発行 日本武道館
〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

月刊 心技体 人を育てる総合誌
武道

月刊「武道」は、全国の書店で販売しています。